

令和5年度岩手県子どもの生活実態  
アンケート調査報告書（概要版）

令和6年11月

岩 手 県

## 目 次

|     |                                     |    |
|-----|-------------------------------------|----|
| 1   | 調査の概要                               | 2  |
| 2   | 子どもの幸福感の前回調査との比較                    | 3  |
| 3   | 主な課題の前回調査との比較                       | 4  |
| (1) | 教育の支援に関すること                         | 4  |
| ①   | 子どもの授業の理解度                          | 4  |
| ②   | 子どもの就学に関する支援                        | 6  |
| ③   | 子どもの学校生活等に関する支援                     | 8  |
| (2) | 生活の安定に資するための支援に関すること                | 11 |
| ①   | 子どもの家庭環境に関する支援                      | 11 |
| ②   | 子どもの居場所に関する支援                       | 12 |
| ③   | 子どもの朝食の摂取に関する支援                     | 13 |
| ④   | 世帯の住居に関する支援                         | 16 |
| ⑤   | 保護者への相談支援                           | 18 |
| (3) | 保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援に関すること | 20 |
| ①   | ひとり親家庭の保護者の就労に関する支援                 | 20 |
| ②   | 子どもの放課後の過ごし方に関する支援                  | 25 |
| ③   | 保護者の仕事と子育ての両立に関する支援                 | 27 |
| (4) | 経済的支援に関すること                         | 28 |
| ①   | 子どもの医療機関の受診に関する支援                   | 28 |
| ②   | ひとり親家庭等の経済的な支援                      | 29 |
| 4   | 新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化に関すること          | 35 |
| (1) | 児童生徒                                | 35 |
| (2) | 保護者                                 | 36 |

# 1 調査の概要

|        | 岩手県子どもの生活実態アンケート調査   |                                 |                                 |
|--------|--|---------------------------------|---------------------------------|
|        | 計  | 小学5年生                           | 中学2年生                           |
| 調査時期   | 令和5年12月15日～令和6年1月22日   |                                 |                                 |
| 調査方法   | 無記名式全数調査（学校配付・WEB回答）   |                                 |                                 |
| 調査対象者  | 小学5年生、中学2年生の児童生徒及びその保護者全て（※）   |                                 |                                 |
| 調査対象者数 | 37,228人<br>保護者18,614人<br>子18,614人  | 18,186人<br>保護者9,093人<br>子9,093人 | 19,042人<br>保護者9,521人<br>子9,521人 |
| 回答数    | 14,057人<br>保護者3,395人<br>子10,662人   | 7,277人<br>保護者1,913人<br>子5,364人  | 6,780人<br>保護者1,482人<br>子5,298人  |
| 回答率    | 37.8%<br>保護者18.2%<br>子57.3%  | 40.0%<br>保護者21.0%<br>子59.0%     | 35.6%<br>保護者15.6%<br>55.6%      |
| 主な調査項目 | <b>【児童生徒（計21問）】</b><br>① 日常生活<br>食事の状況、親子関係、自己肯定感、相談相手<br>② 学校生活<br>授業の理解度、学校や習いごとなどでの困りごと、学習環境<br>③ 学習支援の場・居場所のニーズ<br>通いたいと思う範囲、頻度、時間帯<br>④ 感染症の影響による生活の変化<br>学校の授業以外で勉強する時間、夜遅くまで起きている回数、親以外の大人や友達と話をすること、イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと   |                                 |                                 |
|        | <b>【保護者（計36問）】</b><br>① 保護者の生活状況<br>世帯構成、住宅の状況、親子関係、相談相手、生活の満足度<br>② 保護者の就業・経済状況<br>就業状況、収入状況<br>③ 子どもの日常・学校生活等<br>食事の状況、学習の理解度、放課後の過ごし方、習い事にかかる費用、習い事の希望、勉強時間、希望学歴、医療機関のかかり方、心配事<br>④ 公的支援のニーズ<br>公的制度の利用状況、希望する子育て支援<br>⑤ 感染症の影響による生活の変化<br>生活に必要な収入の変化、必要な食料や衣服を買えないこと、イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと |                                 |                                 |

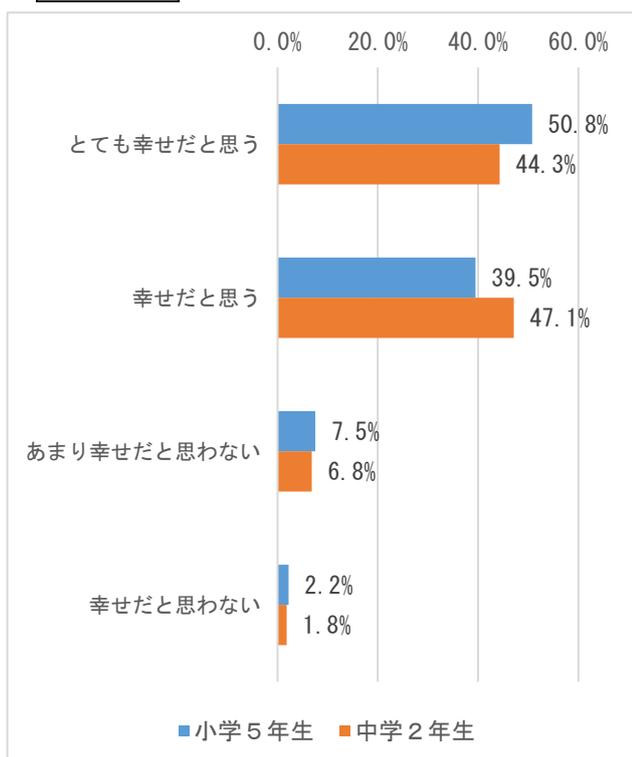
※ 県内の公立小・中学校（義務教育学校を含む）

## 2 子どもの幸福感の前回調査との比較

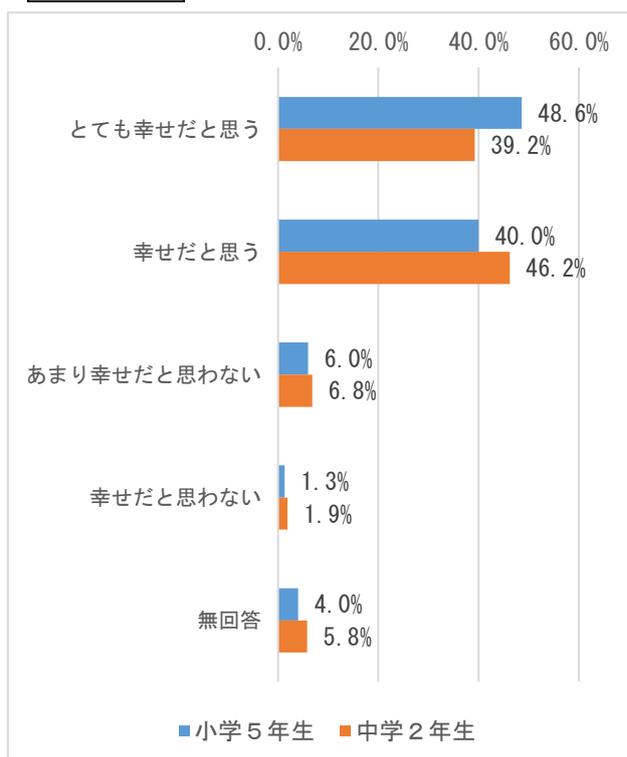
- ・ 子どもの幸福感について、小学5年生、中学2年生ともに、「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と回答した割合は9割を超えている。
- ・ また、前回調査と比較して、小学5年生、中学2年生ともに、「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と回答した割合は増加している。

【こども・問4】あなたは、自分は幸せだと思いますか。（1つえらぶ）

令和5年度



平成30年度



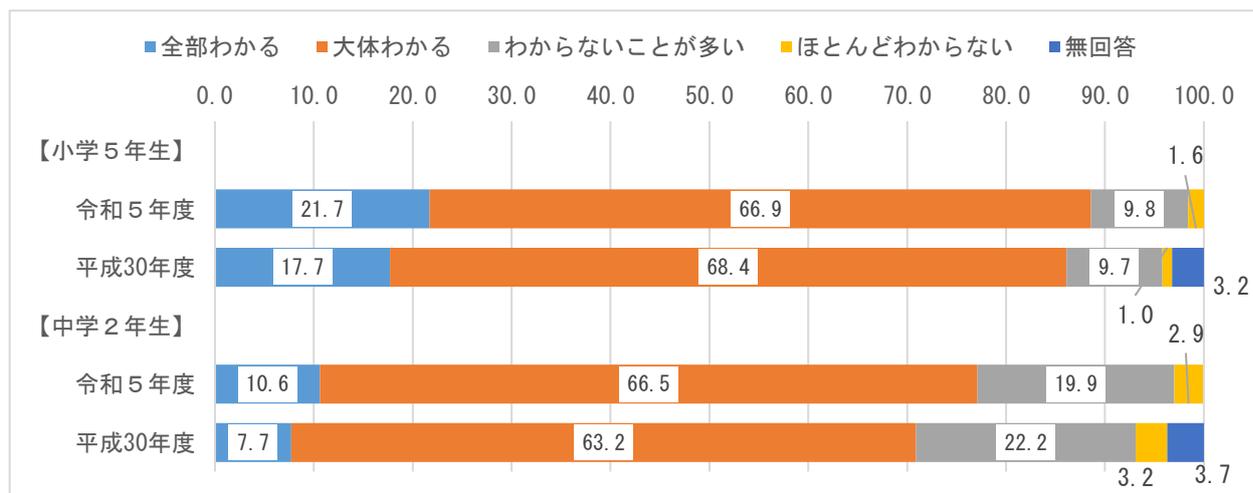
### 3 主な課題の前回調査との比較

#### (1) 教育の支援に関すること

##### ① 子どもの授業の理解度

- ・ 学校の授業が「全部わかる」と回答した割合は、前回調査と比較して、小学5年生、中学2年生ともに、増加している。

【子ども・問6】あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。(1つえらぶ)



- ・ 小学5年生、中学2年生ともに、「あまり幸せだと思わない」「幸せだと思わない」と回答した子どもは、「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と回答した子どもと比較して、授業の理解度が低くなっている。

【子ども・問6】あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。（1つえらぶ）

○小学5年生

|              | 全体     | 問4 あなたは、自分は幸せだと思いますか。（1つに○） |                          |                    |
|--------------|--------|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
|              |        | とても幸せだと思う、幸せだと思う (A)        | あまり幸せだと思わない、幸せだと思わない (B) | (A)と(B)の割合の乖離(B-A) |
| 1 全部わかる      | 21.7%  | 22.7%                       | 12.5%                    | ▲ 10.2             |
| 2 大体わかる      | 66.9%  | 67.7%                       | 58.7%                    | ▲ 9.0              |
| 3 わからないことが多い | 9.8%   | 8.5%                        | 22.2%                    | 13.7               |
| 4 ほとんどわからない  | 1.6%   | 1.1%                        | 6.6%                     | 5.5                |
| 回答者数計        | 100.0% | 100.0%                      | 100.0%                   | 0.0                |

○中学2年生

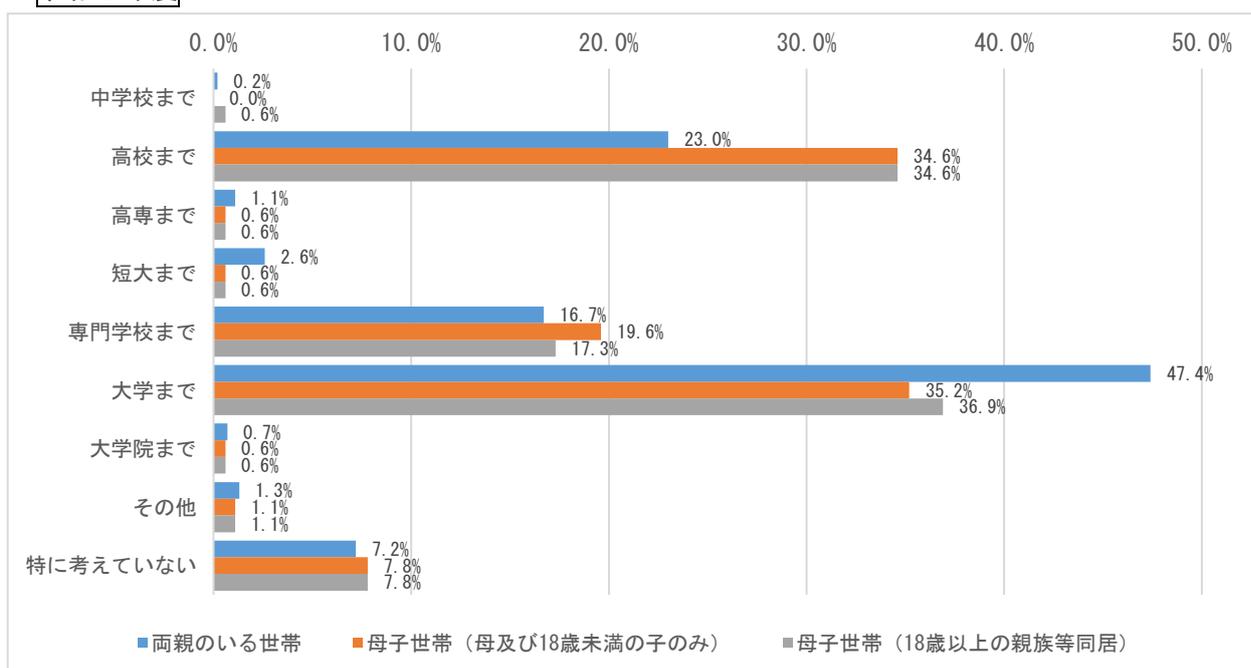
|              | 全体   | 問4 あなたは、自分は幸せだと思いますか。（1つに○） |                          |                    |
|--------------|------|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
|              |      | とても幸せだと思う、幸せだと思う (A)        | あまり幸せだと思わない、幸せだと思わない (B) | (A)と(B)の割合の乖離(B-A) |
| 1 全部わかる      | 10.6 | 11.2%                       | 5.3%                     | ▲ 5.9              |
| 2 大体わかる      | 66.5 | 67.6%                       | 55.2%                    | ▲ 12.4             |
| 3 わからないことが多い | 19.9 | 18.8%                       | 31.4%                    | 12.6               |
| 4 ほとんどわからない  | 2.9  | 2.5%                        | 8.1%                     | 5.6                |
| 回答者数計        | 100  | 100.0%                      | 100.0%                   | 0.0                |

## ② 子どもの就学に関する支援

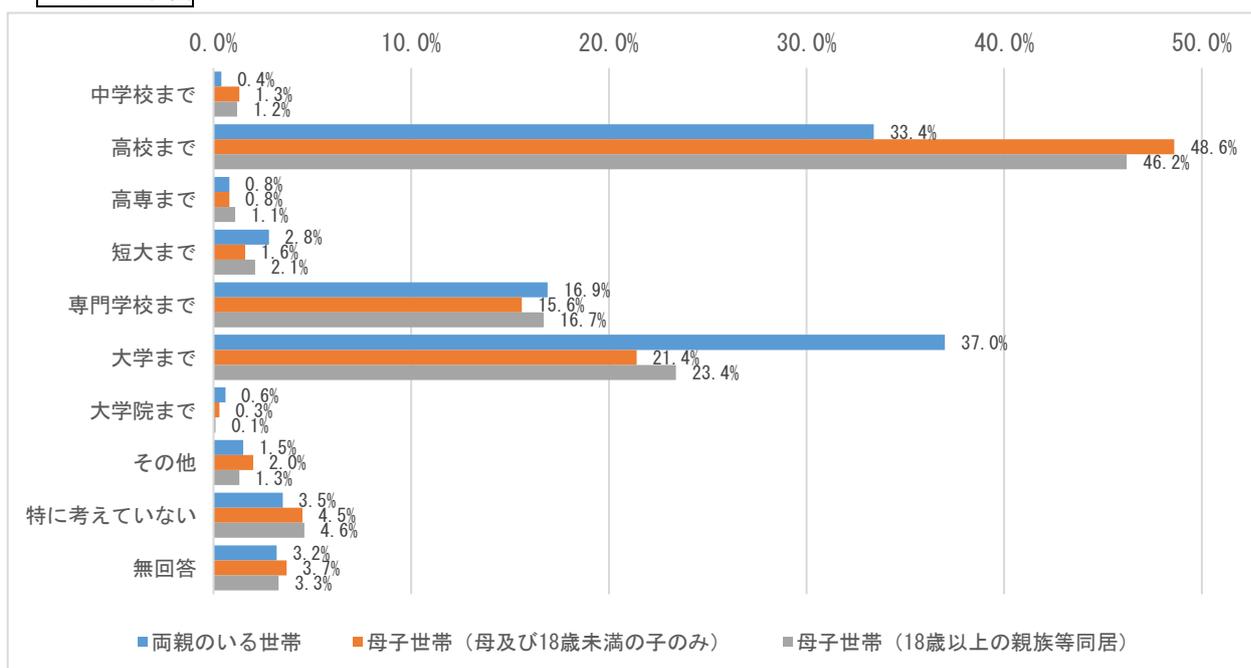
- ・ 現実的な進学の見通しについて、母子世帯では、両親のいる世帯と比較して、「大学まで」と回答した割合が低くなっている。
- ・ 一方で、前回調査と比較すると、母子世帯、両親のいる世帯ともに「大学まで」と回答した割合が増加している。

【保護者・問 19】あなたは調査対象のお子さんが、現実的には、どの段階の学校まで進むと考えているかあてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度



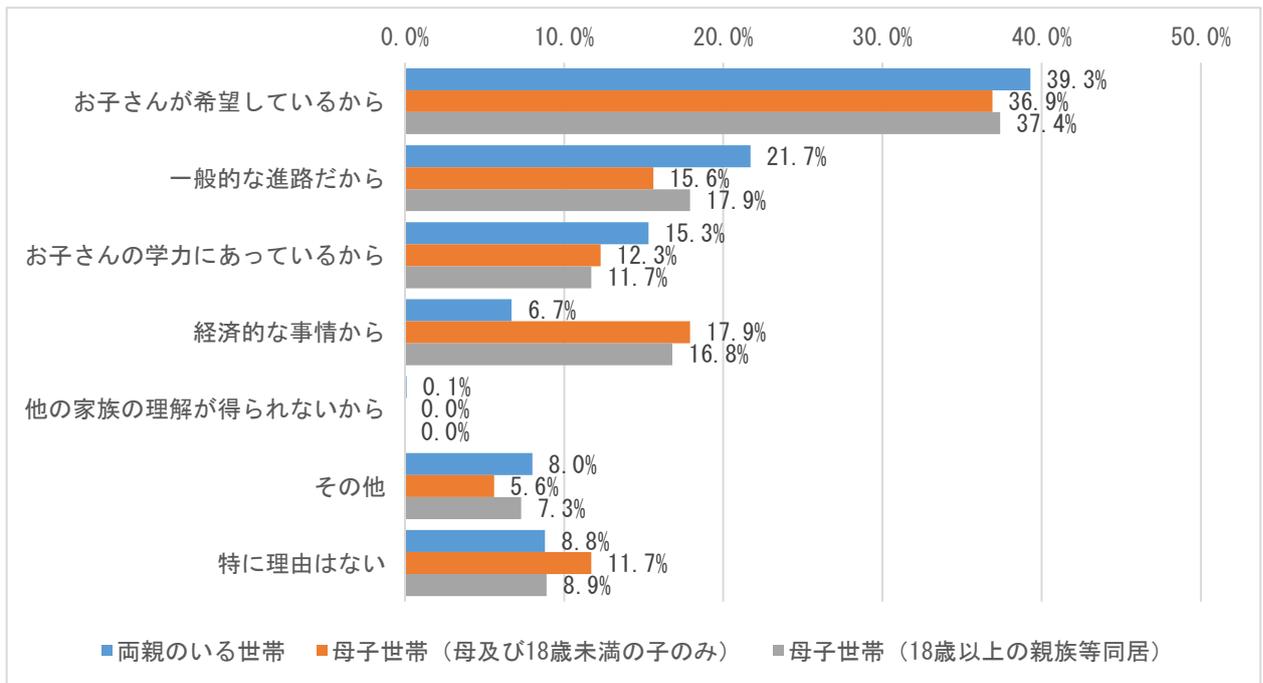
平成30年度



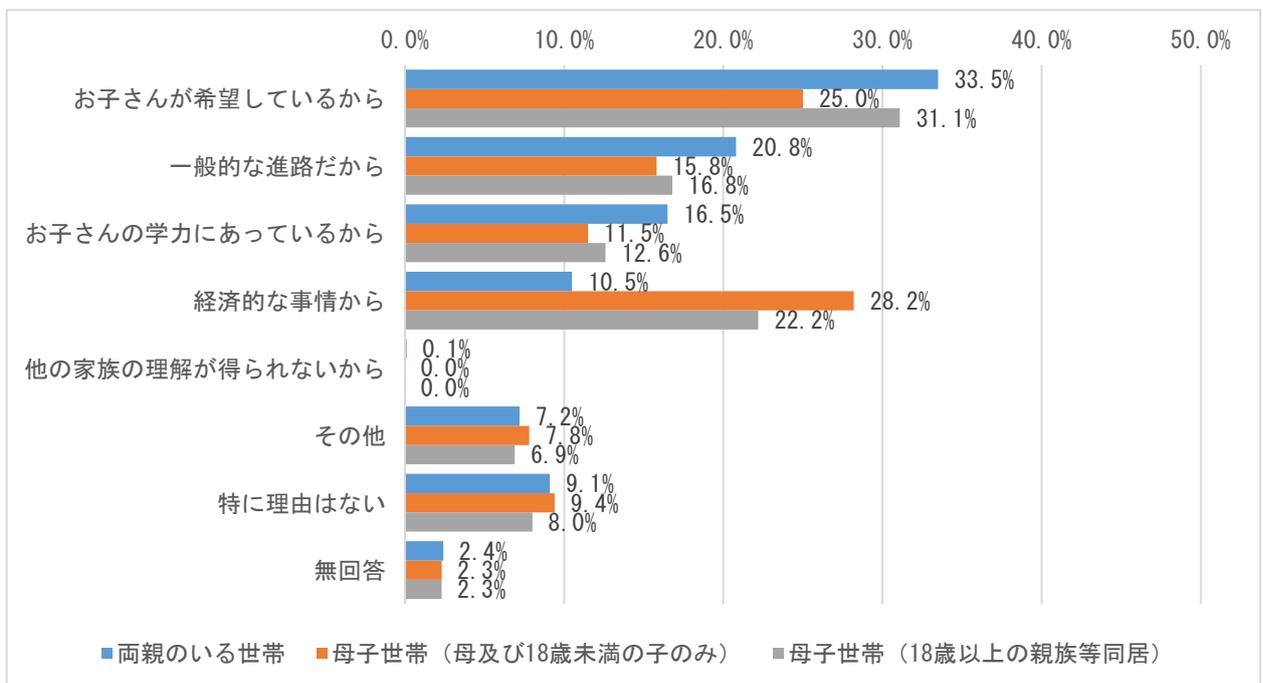
- また、現実的な進学の見通しを回答した理由について、前回調査と比較すると、母子世帯、両親のいる世帯ともに、「お子さんが希望しているから」と回答した割合が増加し、「経済的な事情から」と回答した割合が減少している。

【保護者・問20】あなたが問19（調査対象のお子さんが、現実的には、どの段階の学校まで進むと考えているか）のようにお考えになる理由は何ですか。あてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度



平成30年度

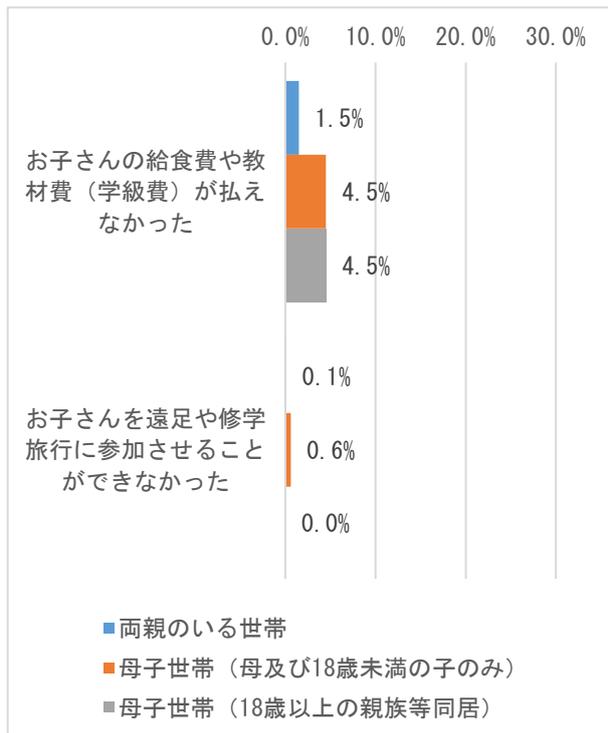


### ③ 子どもの学校生活等に関する支援

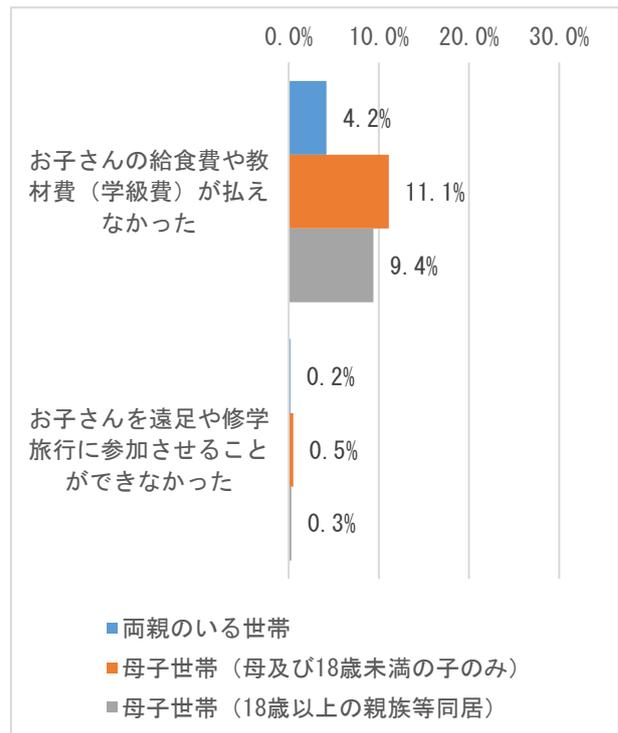
- ・ 経済的な理由で経験したことについて、母子世帯では、両親のいる世帯と比較して、「お子さんの給食費や教材費（学級費）が払えなかった」と回答した割合が高くなっている。
- ・ 一方で、前回調査と比較すると、母子世帯、両親のいる世帯ともに、「お子さんの給食費や教材費（学級費）が払えなかった」と回答した割合が減少している。

【保護者・問 26】あなたの世帯では、おおむね 1 年の間に、経済的な理由（お金が足りなくて）で、次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。（抜粋）

令和 5 年度



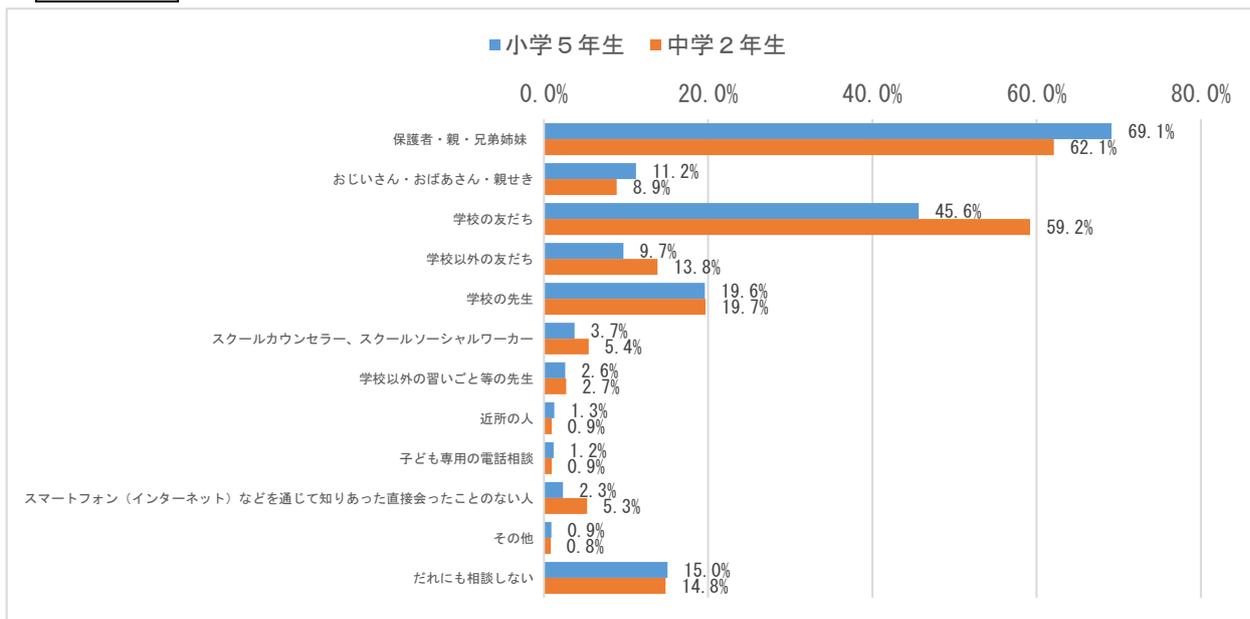
平成 30 年度



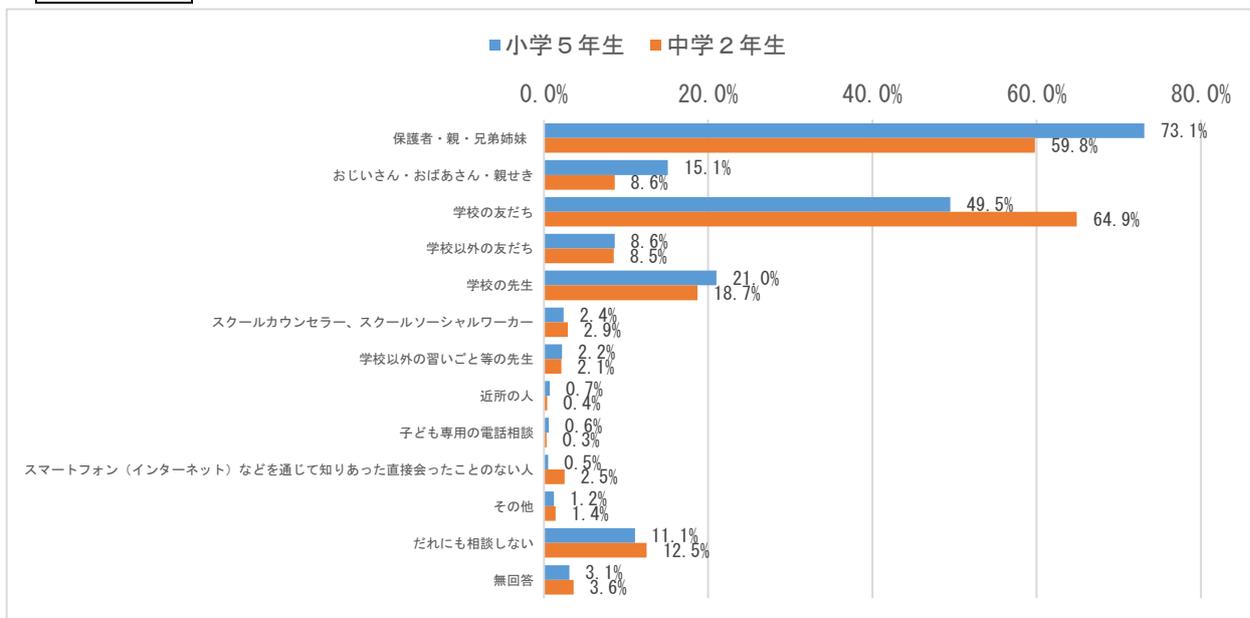
- ・ いやなことや悩みがあるときの相談相手について、小学5年生、中学2年生ともに、「保護者・親・兄弟姉妹」、「学校の友だち」、「学校の先生」の順に回答した割合が高くなっている。
- ・ また、前回調査と比較すると、小学5年生、中学2年生ともに、「だれにも相談しない」と回答した割合が増加している。

【こども・問9】あなたは、いやなことや悩みがあるとき、だれに相談しますか。(あてはまるものをすべてえらぶ)

令和5年度



平成30年度



- ・ 小学5年生、中学2年生ともに、「あまり幸せだと思わない」「幸せだと思わない」と回答した子どもは、「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と回答した子どもと比較して、「だれにも相談しない」と回答した割合が高くなっている。

**【こども・問9】あなたは、いやなことや悩みがあるとき、だれに相談しますか。(あてはまるものをすべてえらぶ)**

**○小学5年生**

|   | 全体     | 問4 あなたは、自分は幸せだと思いますか。(1つに○) |                          |                    |
|---|--------|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
|   |        | とても幸せだと思う、幸せだと思う (A)        | あまり幸せだと思わない、幸せだと思わない (B) | (A)と(B)の割合の乖離(B-A) |
| 1 保護者・親・兄弟姉妹                              | 69.0%  | 71.6%                       | 45.2%                    | ▲ 26.4             |
| 2 おじいさん・おばあさん・親せき                         | 11.1%  | 11.6%                       | 6.9%                     | ▲ 4.7              |
| 3 学校の友だち                                  | 45.6%  | 47.1%                       | 32.0%                    | ▲ 15.1             |
| 4 学校以外の友だち                                | 9.7%   | 9.7%                        | 9.7%                     | 0.0                |
| 5 学校の先生                                   | 19.6%  | 19.8%                       | 17.8%                    | ▲ 2.0              |
| 6 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー                | 3.7%   | 3.5%                        | 6.0%                     | 2.5                |
| 7 学校以外の習いごと等の先生                           | 2.6%   | 2.6%                        | 2.3%                     | ▲ 0.3              |
| 8 近所の人                                    | 0.013  | 1.2%                        | 1.5%                     | 0.3                |
| 9 子ども専用の電話相談                              | 0.012  | 1.2%                        | 1.2%                     | 0.0                |
| 10 スマートフォン(インターネット)などを通じて知りあった直接会ったことのない人 | 0.023  | 2.0%                        | 5.8%                     | 3.8                |
| 11 その他                                    | 0.014  | 1.2%                        | 3.5%                     | 2.3                |
| 12 だれにも相談しない                              | 0.185  | 16.5%                       | 37.5%                    | 21.0               |
| 回答者数計                                     | 100.0% | 100.0%                      | 100.0%                   | 0.0                |

**○中学2年生**

|   | 全体     | 問4 あなたは、自分は幸せだと思いますか。(1つに○) |                          |                    |
|---|--------|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
|   |        | とても幸せだと思う、幸せだと思う (A)        | あまり幸せだと思わない、幸せだと思わない (B) | (A)と(B)の割合の乖離(B-A) |
| 1 保護者・親・兄弟姉妹                              | 62.1%  | 64.5%                       | 36.9%                    | ▲ 27.6             |
| 2 おじいさん・おばあさん・親せき                         | 8.9%   | 9.2%                        | 5.7%                     | ▲ 3.5              |
| 3 学校の友だち                                  | 59.2%  | 60.8%                       | 42.4%                    | ▲ 18.4             |
| 4 学校以外の友だち                                | 13.8%  | 14.0%                       | 11.9%                    | ▲ 2.1              |
| 5 学校の先生                                   | 19.7%  | 19.9%                       | 16.9%                    | ▲ 3.0              |
| 6 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー                | 5.4%   | 5.2%                        | 7.5%                     | 2.3                |
| 7 学校以外の習いごと等の先生                           | 2.7%   | 2.8%                        | 1.8%                     | ▲ 1.0              |
| 8 近所の人                                    | 0.009  | 0.9%                        | 0.7%                     | ▲ 0.2              |
| 9 子ども専用の電話相談                              | 0.009  | 0.9%                        | 0.9%                     | 0.0                |
| 10 スマートフォン(インターネット)などを通じて知りあった直接会ったことのない人 | 0.053  | 4.7%                        | 11.4%                    | 6.7                |
| 11 その他                                    | 0.01   | 0.7%                        | 3.7%                     | 3.0                |
| 12 だれにも相談しない                              | 0.177  | 16.2%                       | 33.4%                    | 17.2               |
| 回答者数計                                     | 100.0% | 100.0%                      | 100.0%                   | 0.0                |

## (2) 生活の安定に資するための支援に関すること

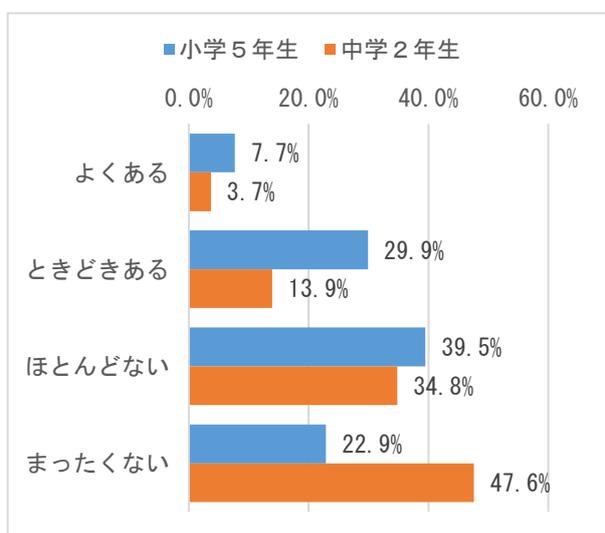
### ① 子どもの家庭環境に関する支援

- ・ 小学5年生、中学2年生ともに、前回調査と比較して、大人の家族に宿題を教えてもらうことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は減少している。
- ・ また、小学5年生、中学2年生ともに、前回調査と比較して、家で学校の出来事を話すことが「よくある」と回答した割合は減少している。

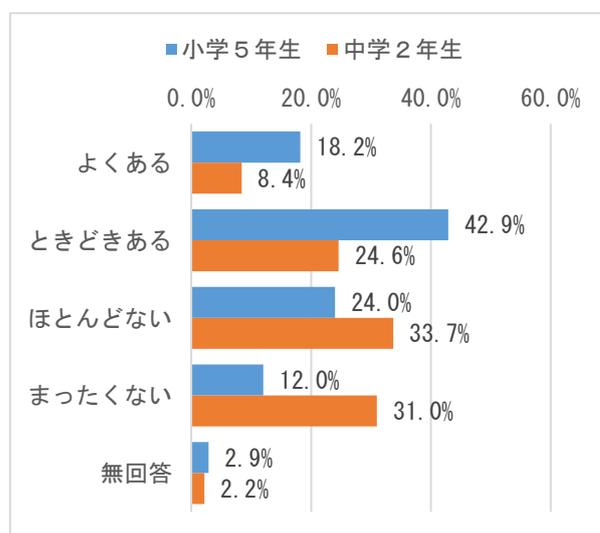
【こども・問 10】あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（(1) から (9) について、それぞれ1つえらぶ）(抜粋)

### (5) 大人の家族に宿題を教えてもらう

令和5年度

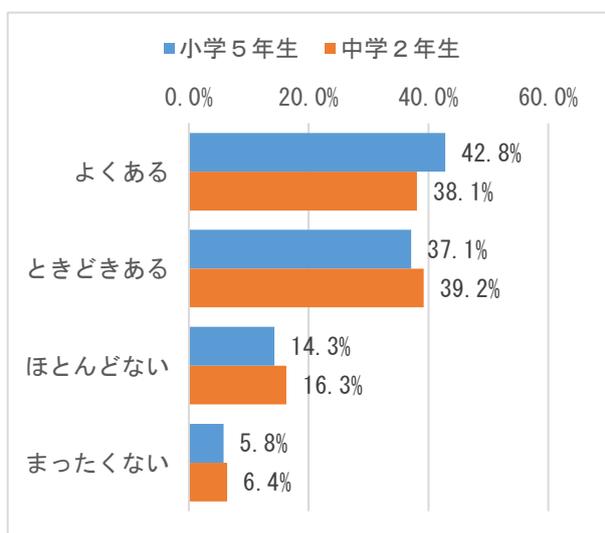


平成30年度

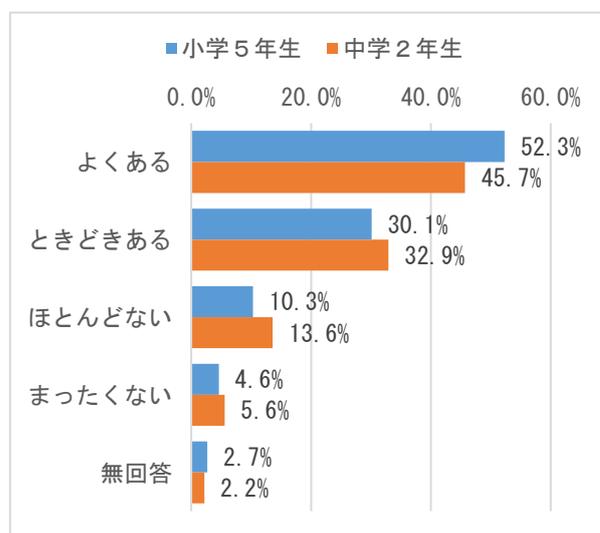


### (6) 家で学校の出来事を話す

令和5年度



平成30年度

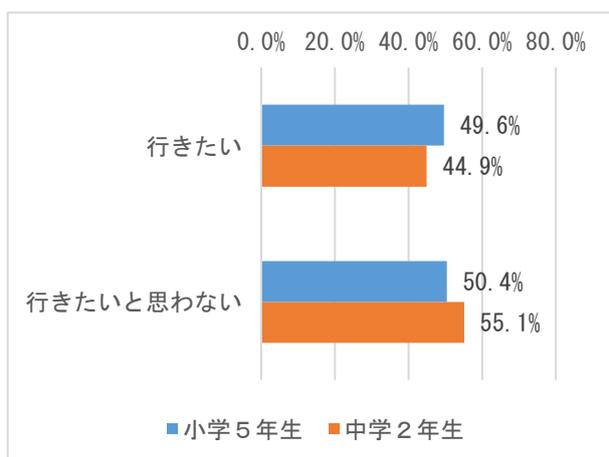


## ② 子どもの居場所に関する支援

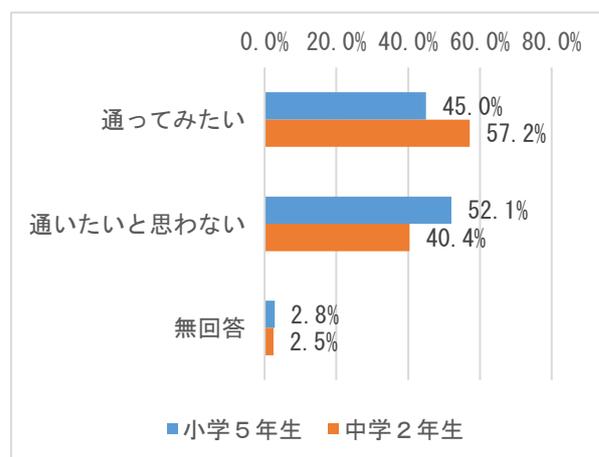
- ・ 「子ども食堂」について、前回調査と同様に、小学5年生、中学2年生ともに、一定程度のニーズがみられる。
- ・ また、利用したい範囲について、前回調査と同様に、小学5年生、中学2年生ともに、「住んでいる学区内」と回答した割合が最も高くなっている。

【こども・問 17】あなたは、無料か安い料金でご飯が食べられる「子ども食堂」があったら行きたいと思いますか。（もっとも近いもの1つえらぶ）

令和5年度

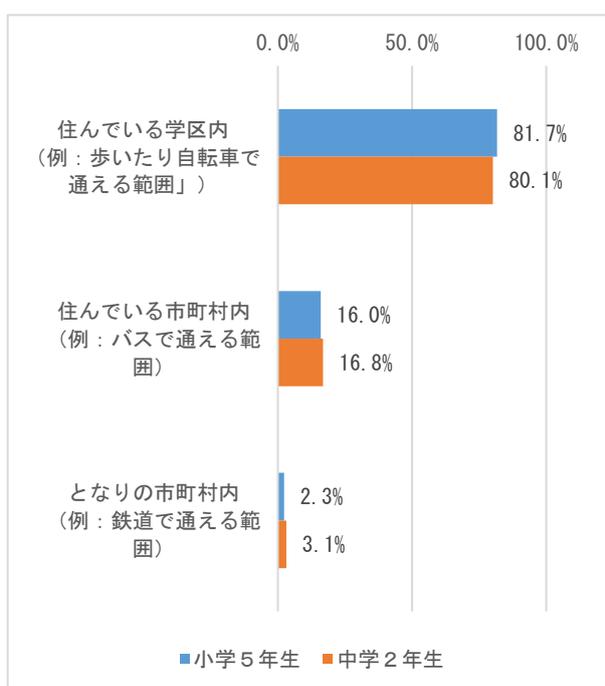


平成30年度

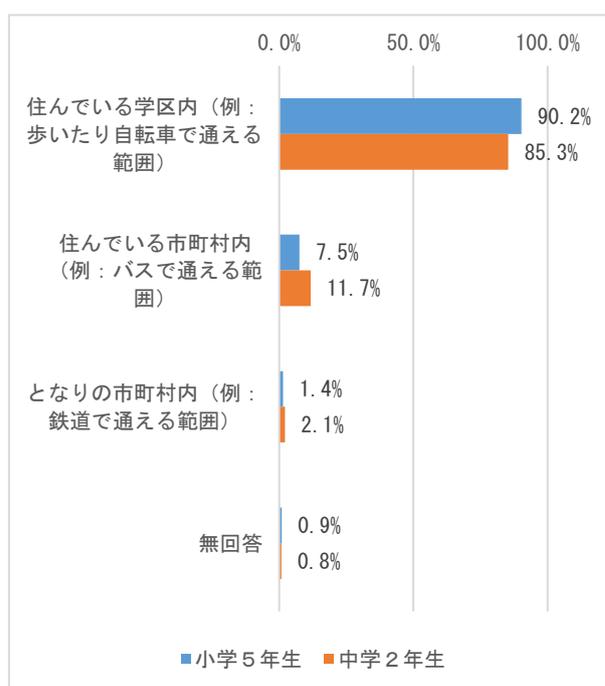


【問 18】問 17で「1. 行きたい」と答えた方にお聞きします。その場所は、どの範囲にあれば利用したいと思いますか。（1つえらぶ）

令和5年度



平成30年度



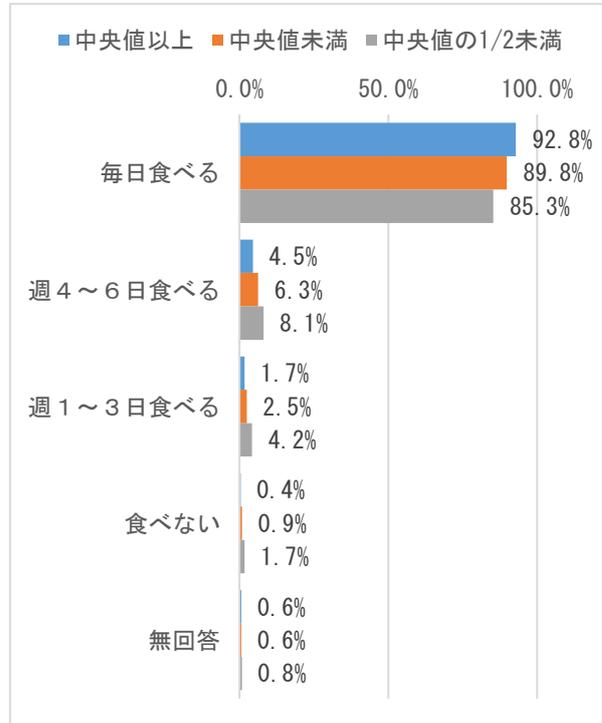
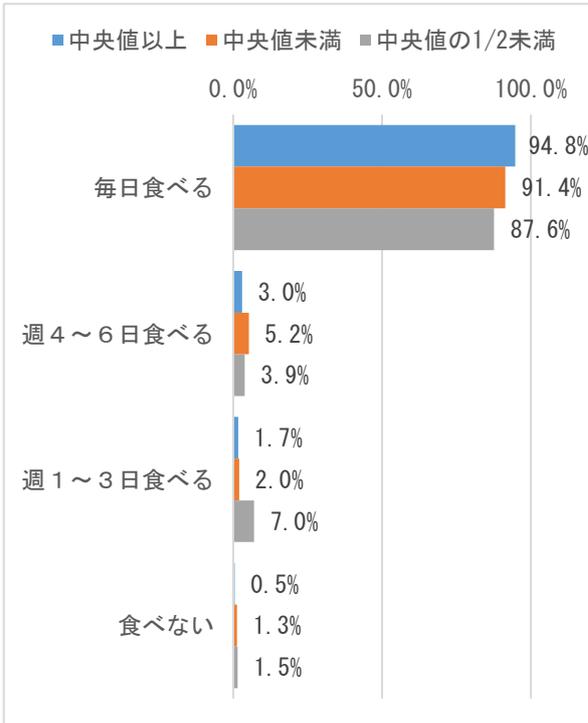
③ 子どもの朝食の摂取に関する支援

- ・ 収入が低い階層ほど「毎日食べる」と回答した割合が低くなっている。一方で、前回調査と比較すると、全ての階層において「毎日食べる」と回答した割合は増加している。

【保護者・問3】 調査対象のお子さんの朝食の状況にあてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度

平成30年度

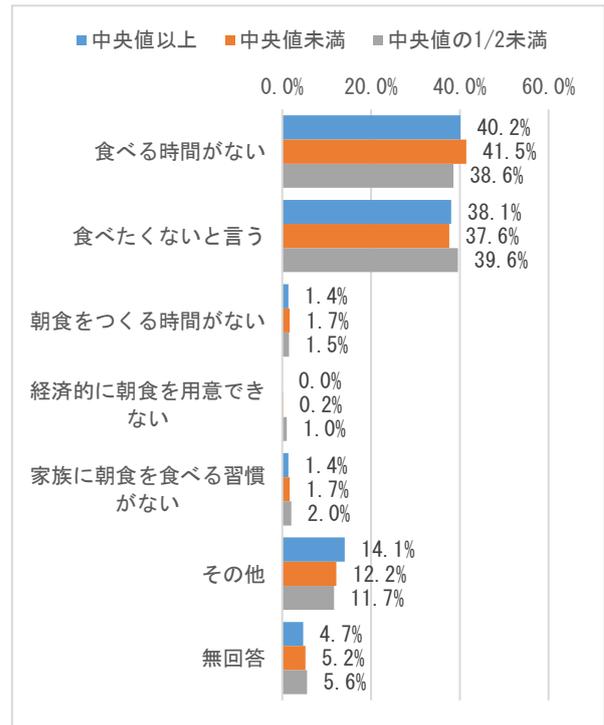
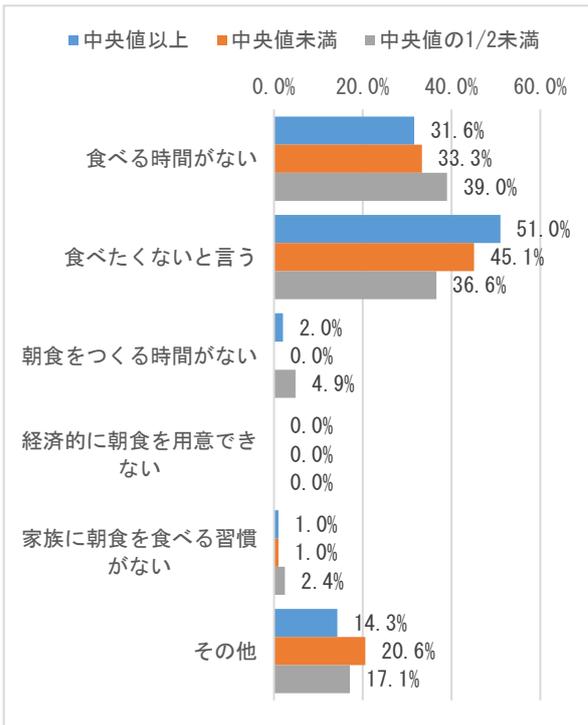


- また、子どもが朝食を食べない時の理由について、収入が低い階層ほど「食べる時間がない」と回答した割合が高く、収入が高い階層ほど「食べたくないと言う」と回答した割合が高くなっている。

【保護者・問4】問3で「2. 週4～6日食べる」、「3. 週1～3日食べる」、「4. 食べない」と答えた方にお聞きします。調査対象のお子さんが朝食を食べない時の理由にあてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度

平成30年度



- ・ 小学5年生、中学2年生ともに、「あまり幸せだと思わない」「幸せだと思わない」と回答した子どもは、「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と回答した子どもと比較して、朝食を「毎日食べる」と回答した割合が低くなっている。

【保護者・問3】調査対象のお子さんの朝食の状況にあてはまるものを1つ選択してください。

○小学5年生

|              | 全体     | 問4 あなたは、自分は幸せだと思いますか。(1つに○) |                          |                    |
|--------------|--------|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
|              |        | とても幸せだと思う、幸せだと思う (A)        | あまり幸せだと思わない、幸せだと思わない (B) | (A)と(B)の割合の乖離(B-A) |
| 1 毎日食べる      | 89.3%  | 90.6%                       | 76.6%                    | ▲ 14.0             |
| 2 週に4～6日は食べる | 6.8%   | 6.1%                        | 13.3%                    | 7.2                |
| 3 週に1～3日は食べる | 2.5%   | 2.1%                        | 6.2%                     | 4.1                |
| 4 食べない       | 1.4%   | 1.1%                        | 3.9%                     | 2.8                |
| 回答者数計        | 100.0% | 100.0%                      | 100.0%                   | 0.0                |

○中学2年生

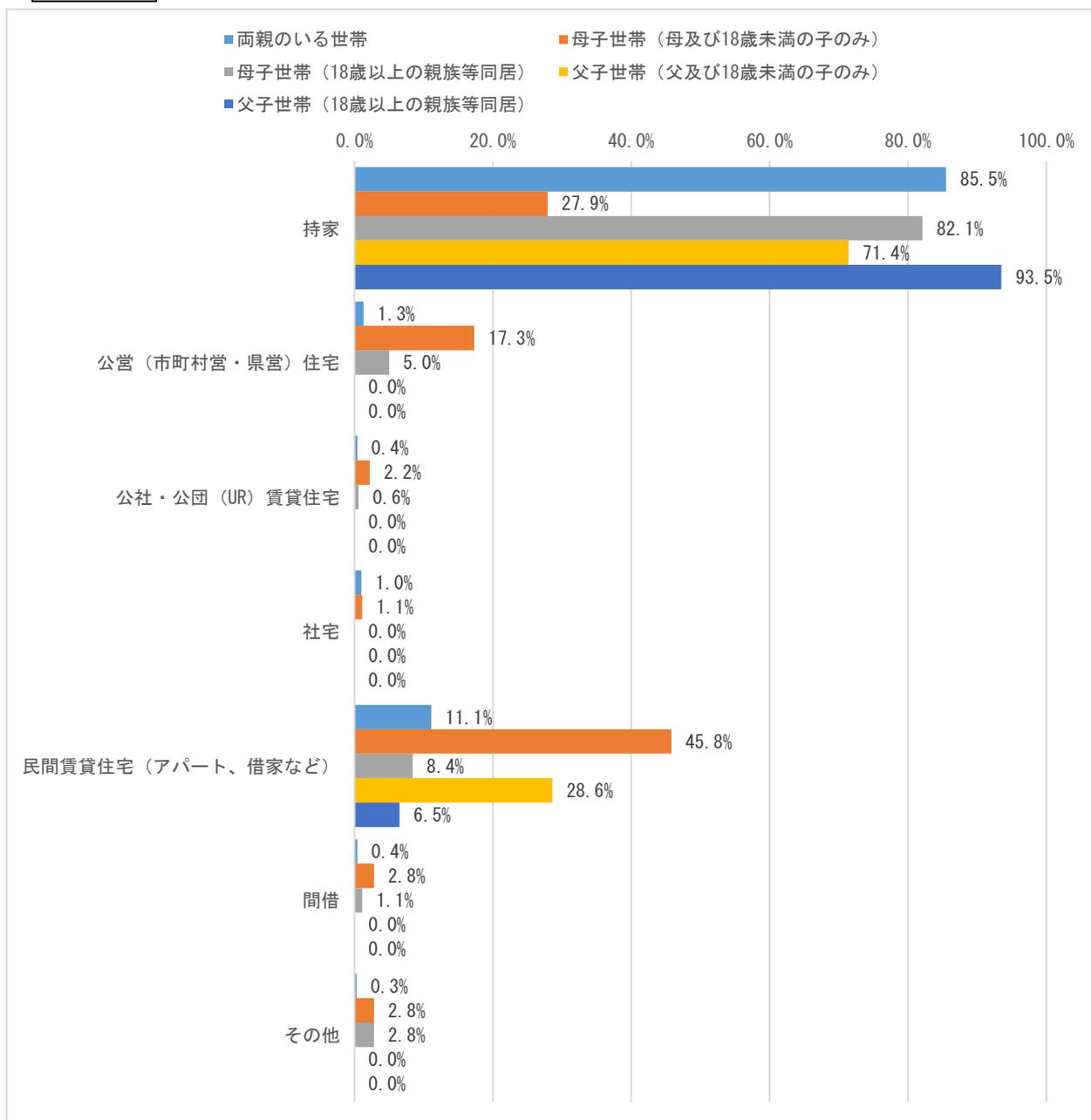
|              | 全体     | 問4 あなたは、自分は幸せだと思いますか。(1つに○) |                          |                    |
|--------------|--------|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
|              |        | とても幸せだと思う、幸せだと思う (A)        | あまり幸せだと思わない、幸せだと思わない (B) | (A)と(B)の割合の乖離(B-A) |
| 1 毎日食べる      | 83.6%  | 84.8%                       | 71.0%                    | ▲ 13.8             |
| 2 週に4～6日は食べる | 10.5%  | 9.9%                        | 17.1%                    | 7.2                |
| 3 週に1～3日は食べる | 3.5%   | 3.2%                        | 6.2%                     | 3.0                |
| 4 食べない       | 2.4%   | 2.1%                        | 5.7%                     | 3.6                |
| 回答者数計        | 100.0% | 100.0%                      | 100.0%                   | 0.0                |

#### ④ 世帯の住居に関する支援

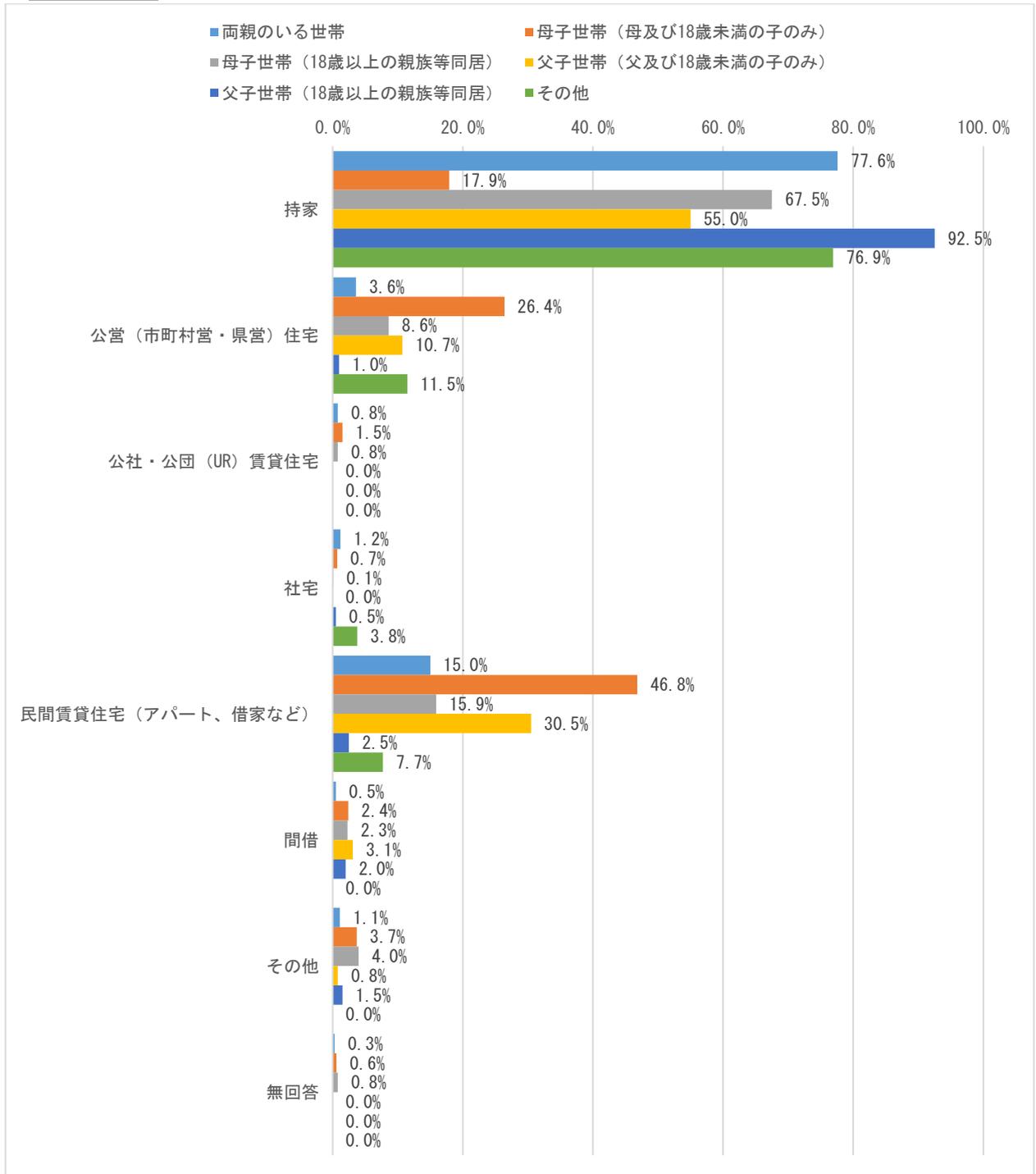
- ・ 住居の状況について、母子世帯（母及び18歳未満の子のみ）では、前回調査と同様に、他の世帯と比較して、持家と回答した割合が低く、民間賃貸住宅（アパート、借家など）と回答した割合が高くなっている。

【保護者・問2】現在、調査対象のお子さんがお住まいの住居にあてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度



平成 30 年度

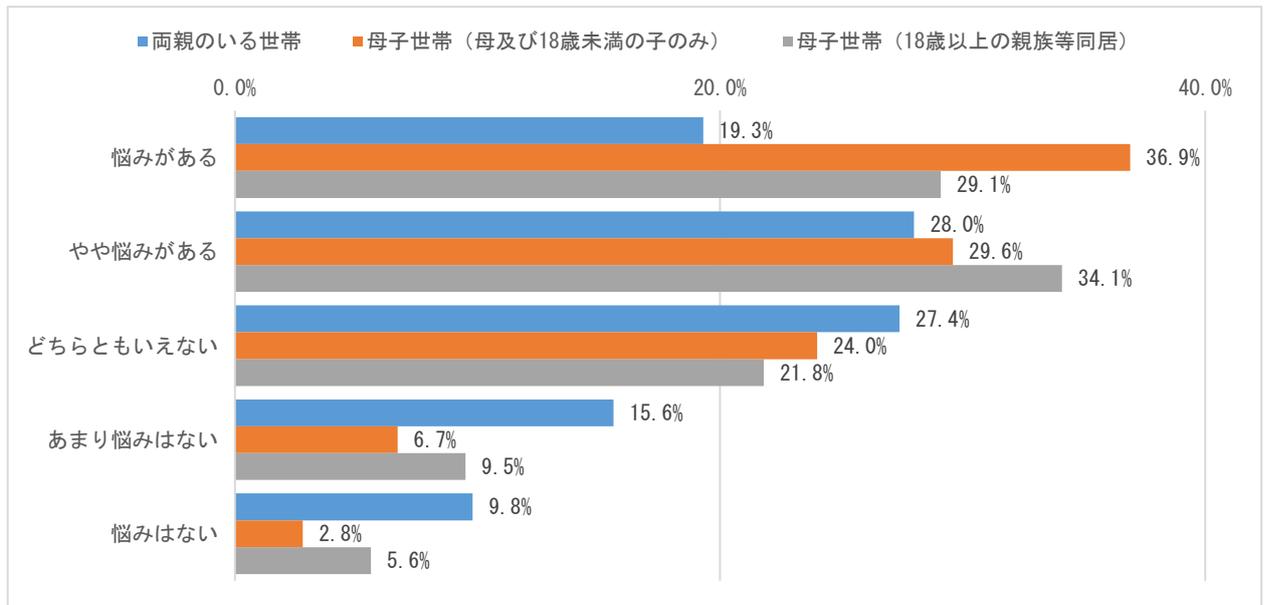


⑤ 保護者への相談支援

- ・ お金の相談・家計管理について、母子世帯では、両親のいる世帯と比較して、「悩みがある」と回答した割合が高くなっている。

【保護者・問29】あなたは、次の（1）から（5）について、悩みがありますか。それぞれあてはまるものを1つ選択してください。（抜粋）

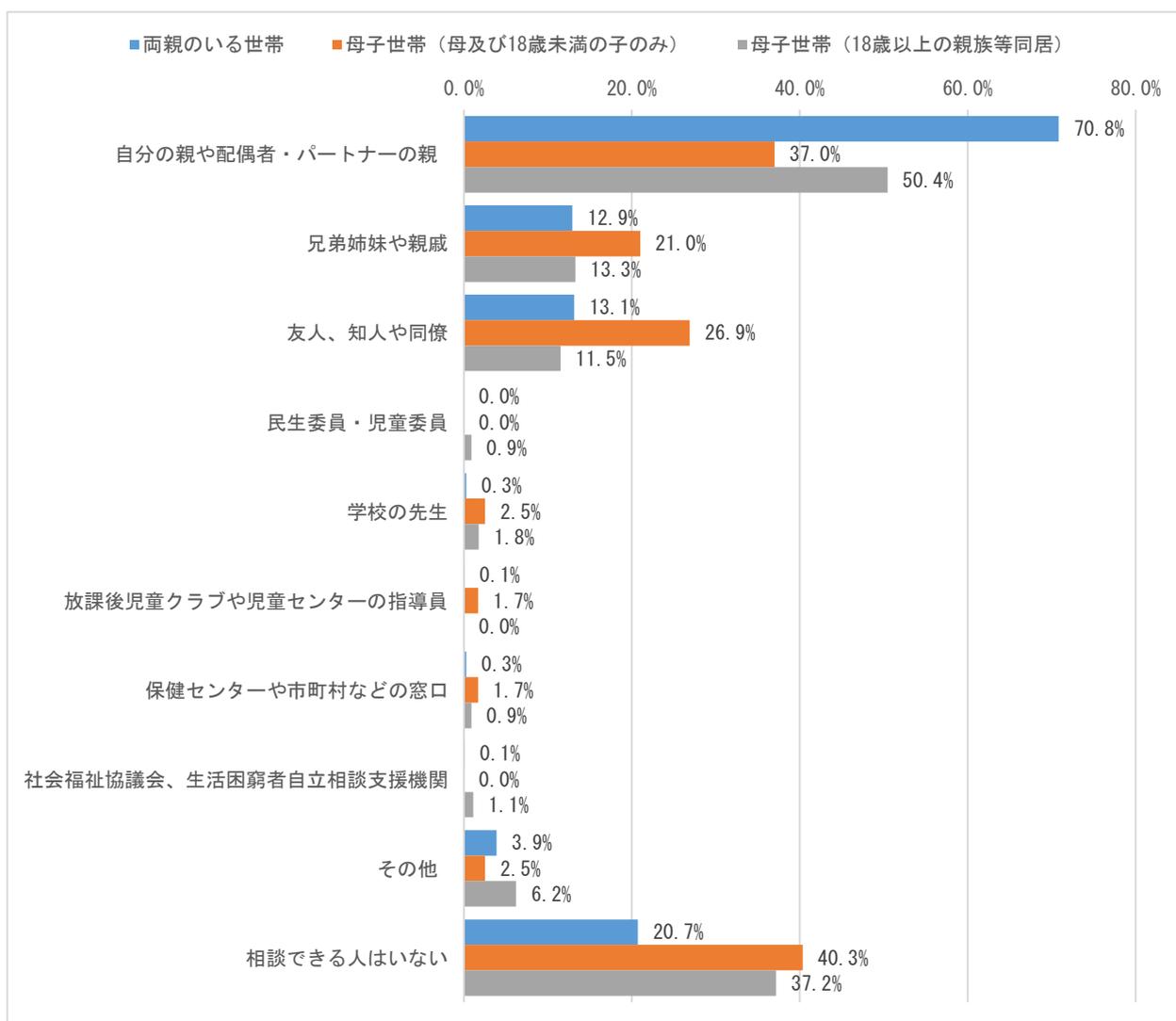
（4）お金の相談・家計管理



- また、相談相手について、母子世帯では、両親のいる世帯と比較して、「相談できる人はいない」と回答した割合が高くなっている。

【保護者・問30】問29（1）から（5）で「1. 悩みがある」「2. やや悩みがある」と答えた方にお聞きします。次のことについて、相談できる人はだれですか。あてはまるものをすべて選択してください。（抜粋）

（4）お金の相談・家計管理



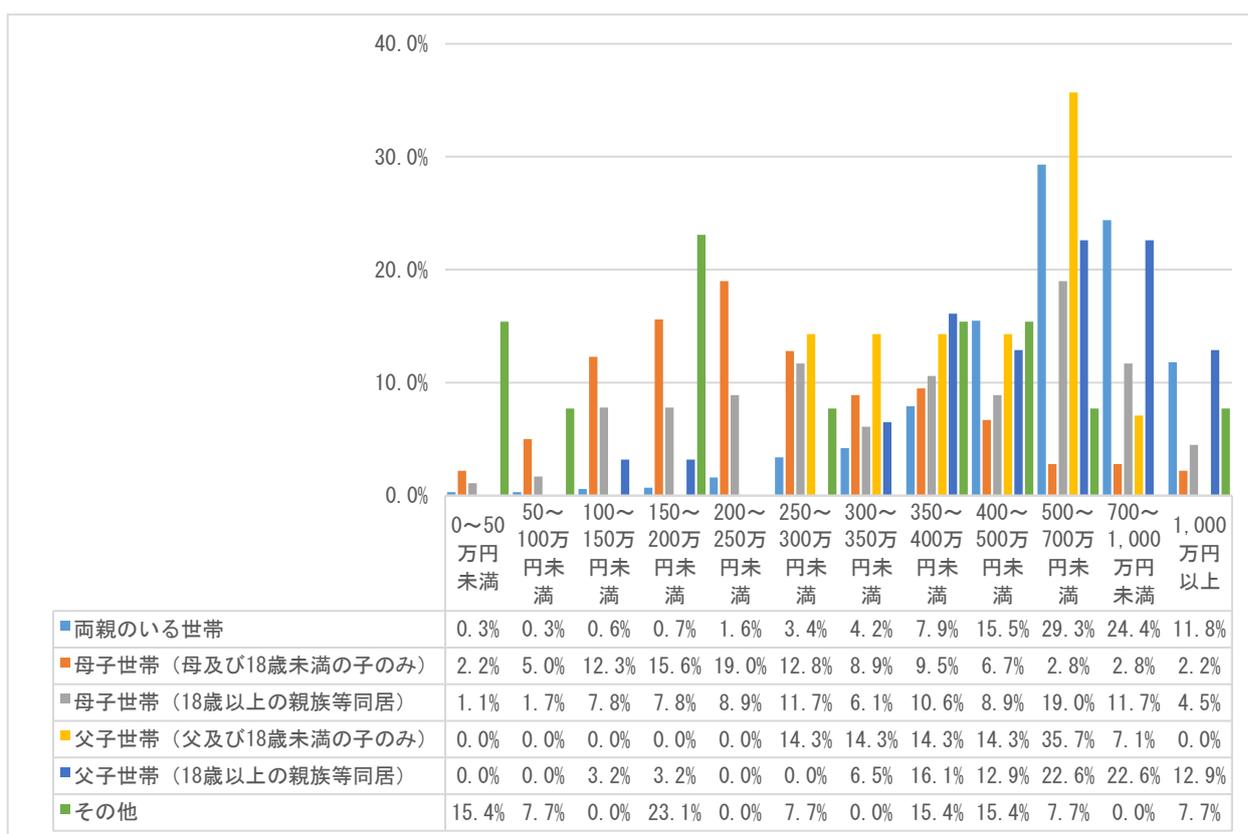
### (3) 保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援に関すること

#### ① ひとり親家庭の保護者の就労に関する支援

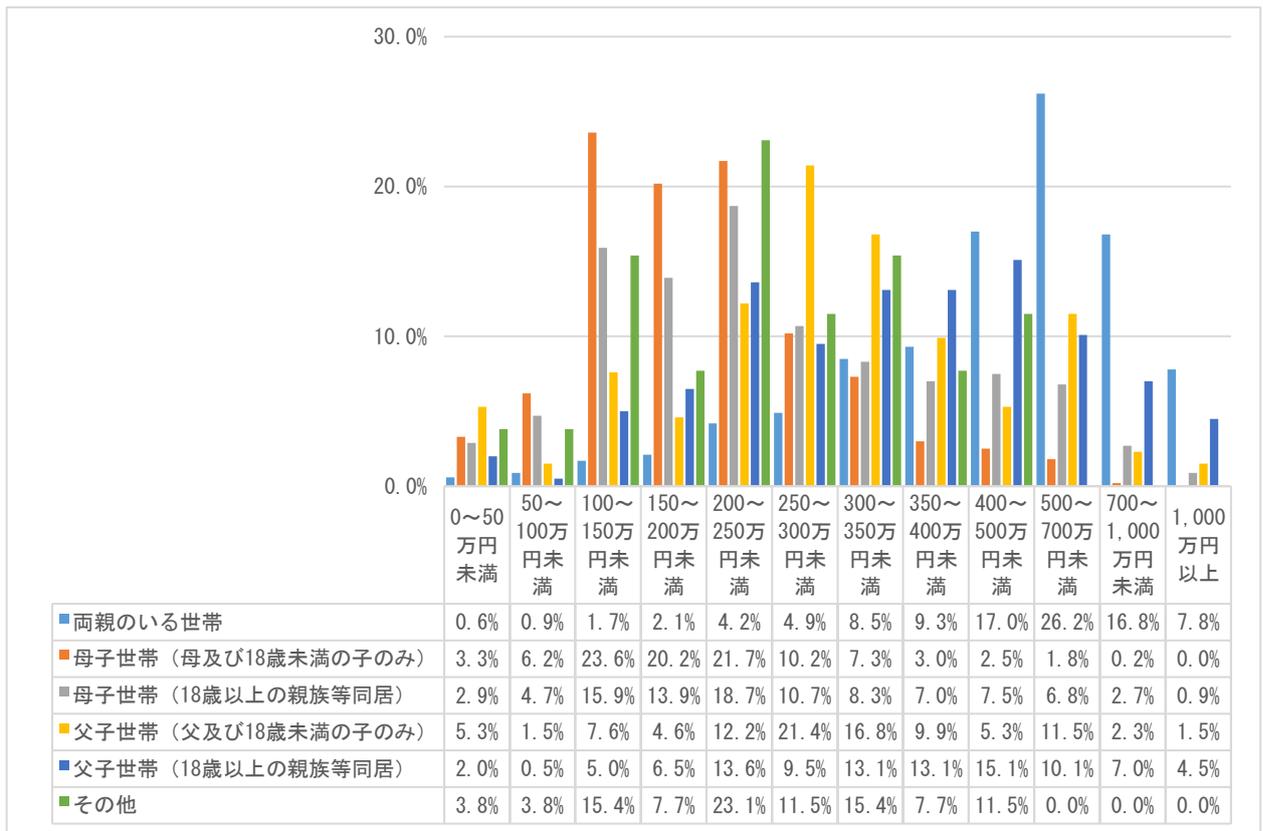
- ・ 世帯全体のおおよその年間収入（税込）について、世帯類型別にみると、母子家庭では、両親のいる世帯や父子世帯と比較して、収入が低い傾向にある。一方で、前回調査と比較すると、収入が150万円未満と回答した母子世帯の割合は減少している。

【保護者・問24】あなたの世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。令和4年（2022年）の年間収入について、あてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度



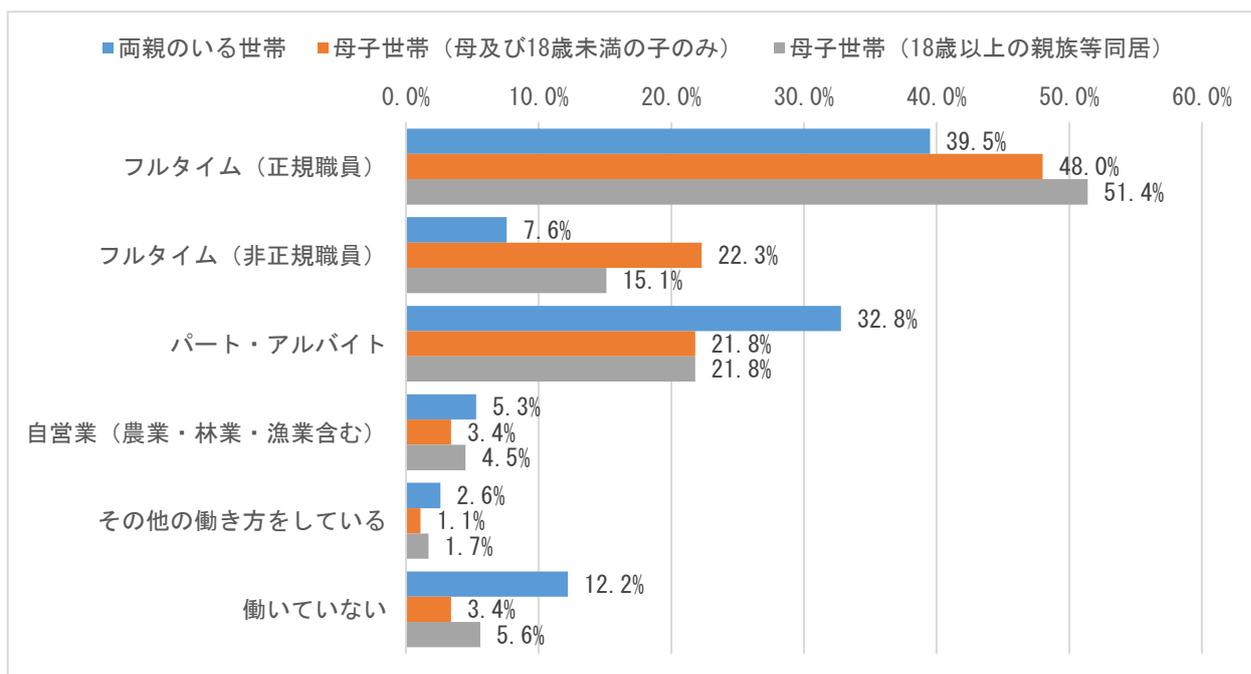
平成 30 年度



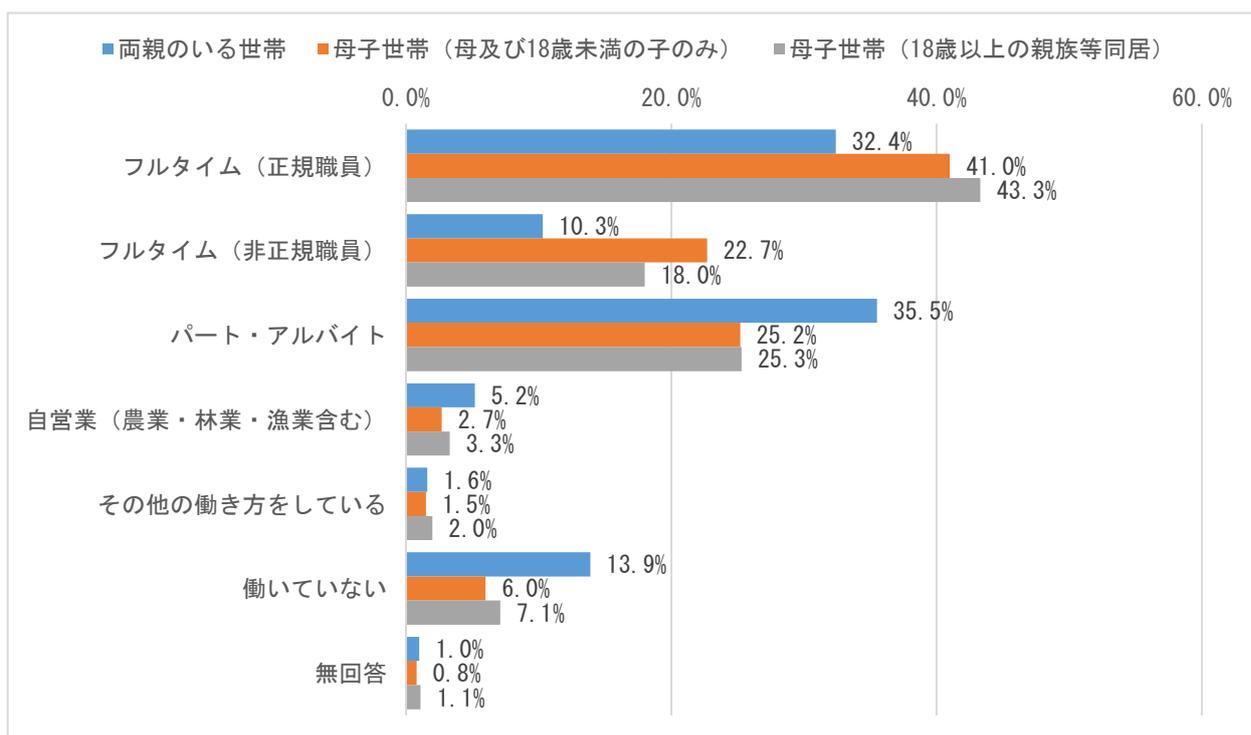
- 就労状況について、母子世帯では、父子世帯と比較して、フルタイム（正規職員）と回答した割合が低くなっている。一方で、前回調査と比較すると、フルタイム（正規職員）と回答した母子世帯の割合は増加している。

【保護者・問 23】働いている状況についてお聞きします。母親の現在のお仕事は次のどれにもっとも近いですか。あてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度

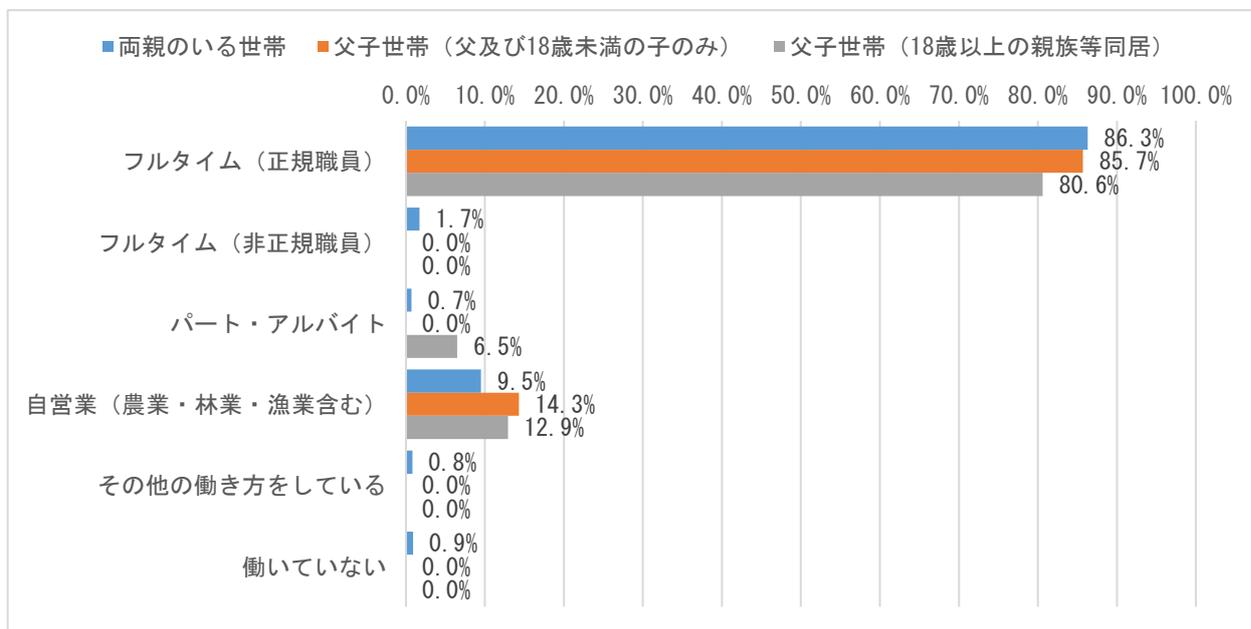


平成30年度

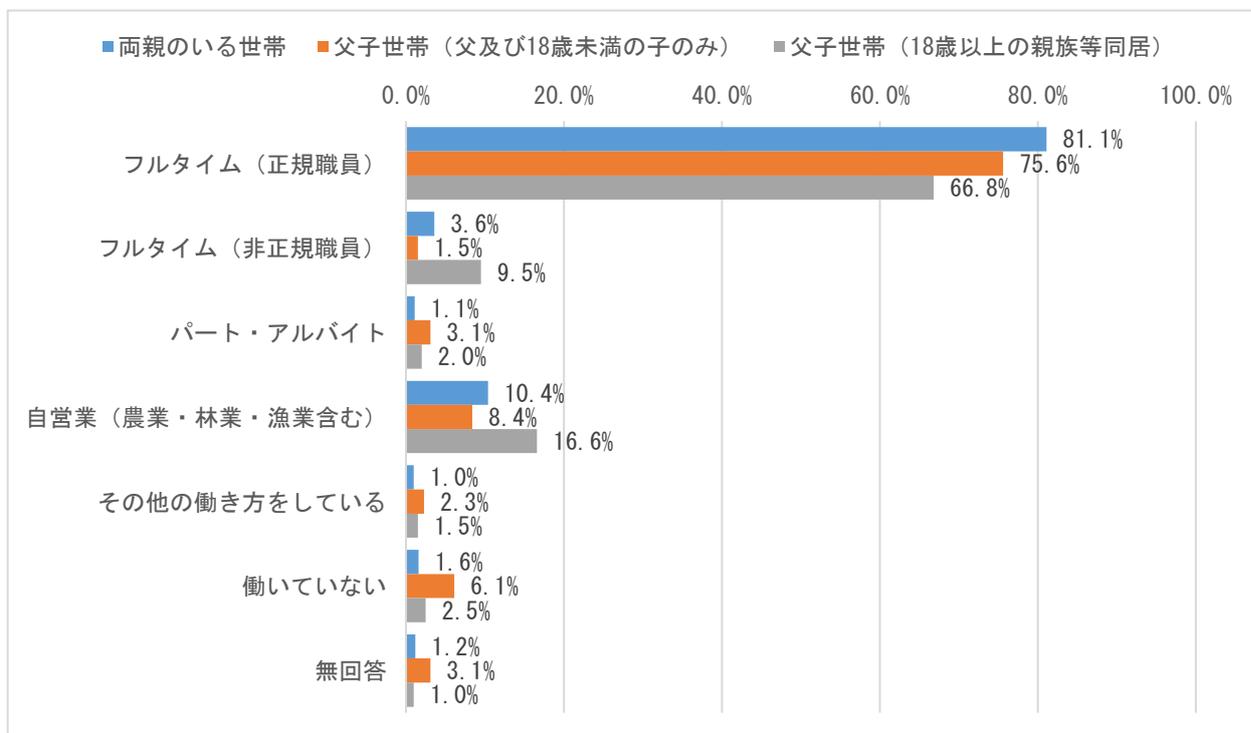


【保護者・問 22】働いている状況についてお聞きします。父親の現在のお仕事は次のどれにもっとも近いですか。あてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度



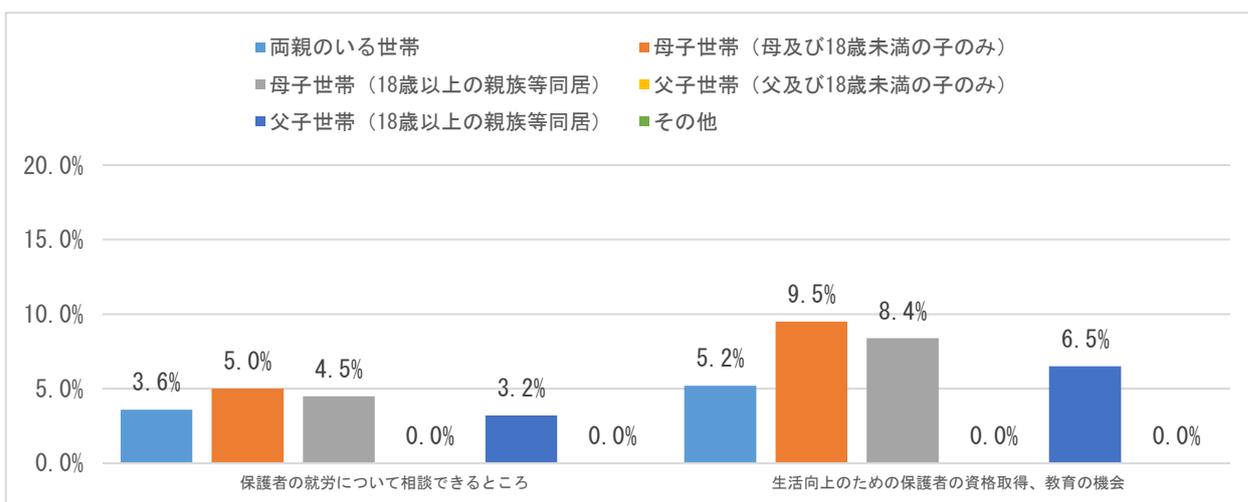
平成30年度



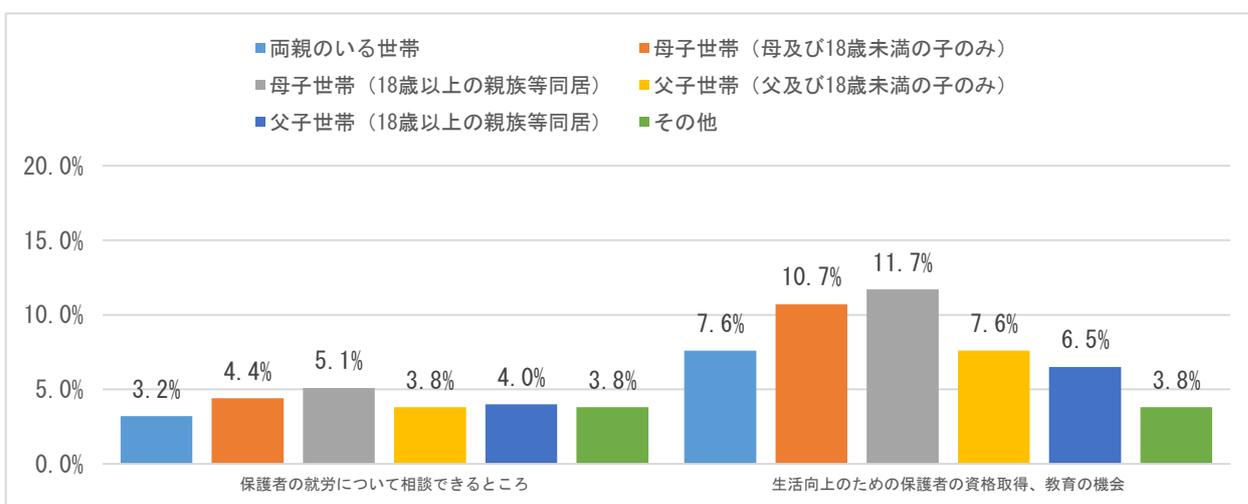
- また、子育て支援に関するニーズについて、母子世帯では、両親のいる世帯や父子世帯と比較して「保護者の就労について相談できるところ」「生活向上のための保護者の資格取得、教育の機会」と回答した割合がやや高くなっている。

【保護者・問 28】あなたは、子育てをしていくうえで、どのような支援が充実すると良いと思いますか。特にあてはまるものを5つ選択してください。

令和5年度



平成30年度

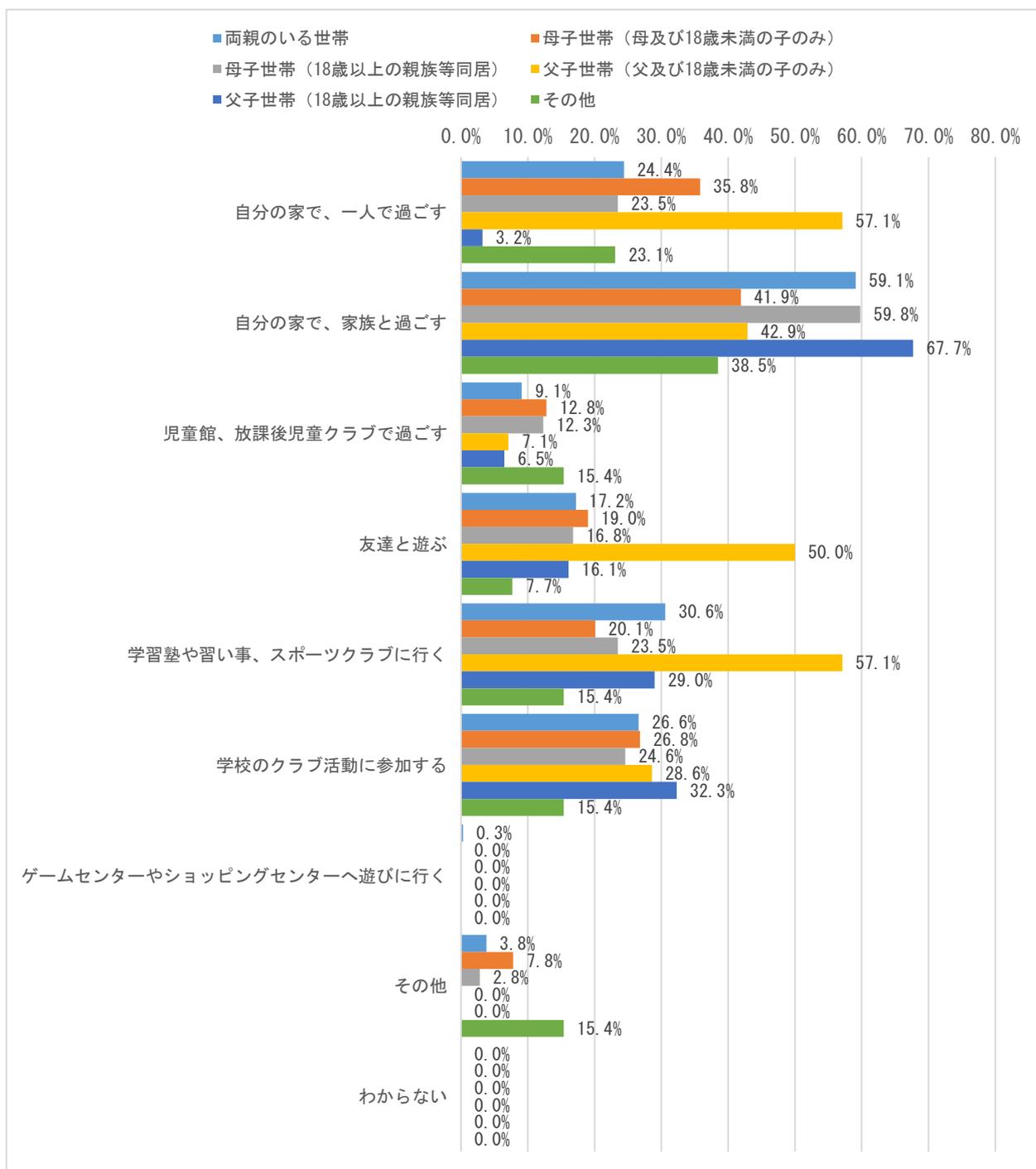


## ② 子どもの放課後の過ごし方に関する支援

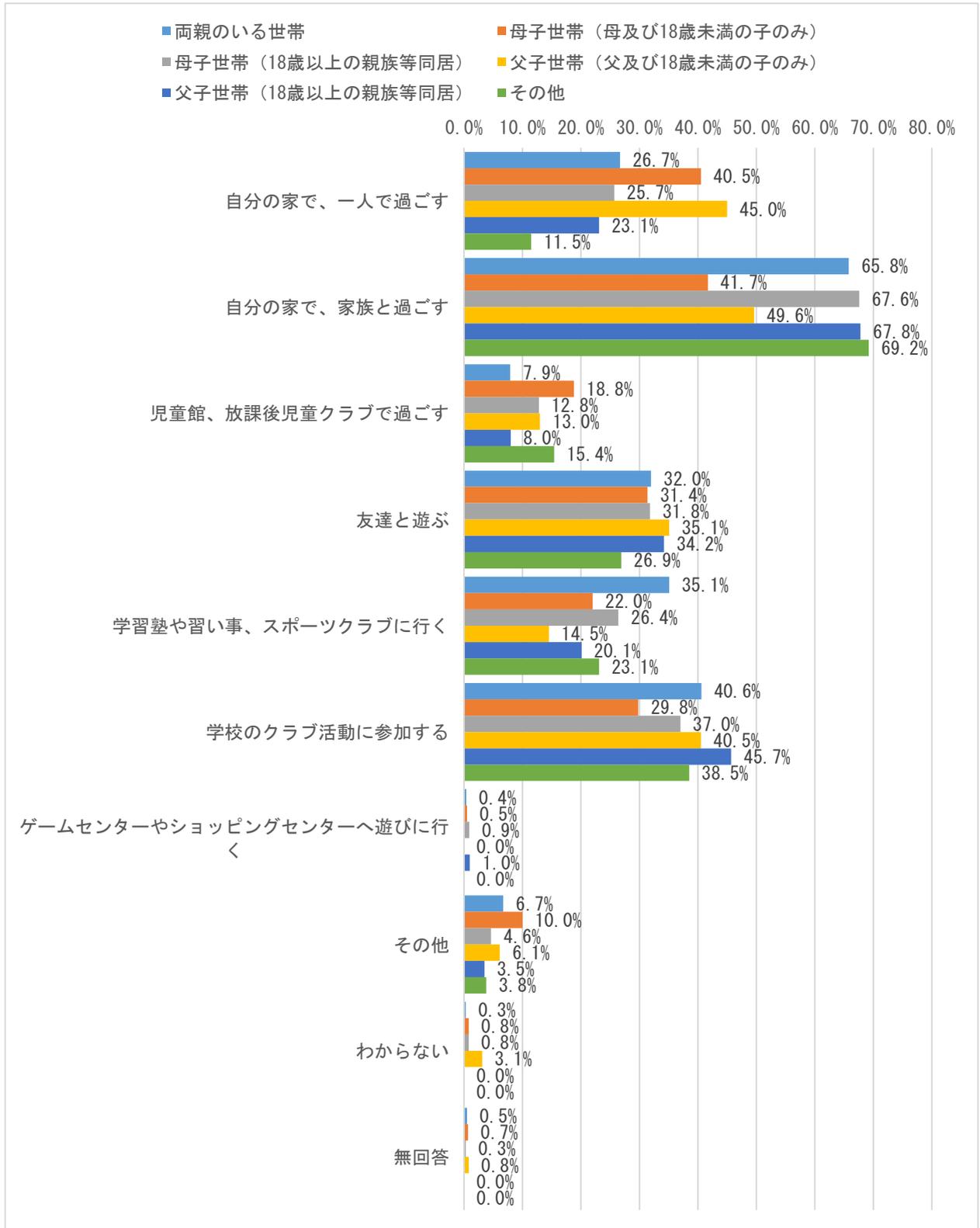
- ・ 平日の学校が終わった後の子どもの過ごし方について、母子世帯(母及び18歳未満の子のみ)、父子世帯(父及び18歳未満の子のみ)では、前回調査と同様に、両親のいる世帯と比較して、「自分の家で、一人で過ごす」と回答した割合が高くなっている。

【保護者・問 12】調査対象のお子さんの、平日の学校が終わった後の過ごし方についてあてはまるものをすべて選択してください。

令和5年度



平成 30 年度

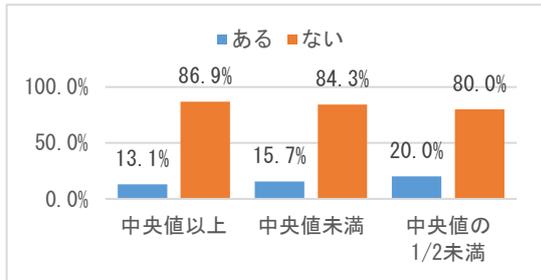


### ③ 保護者の仕事と子育ての両立に関する支援

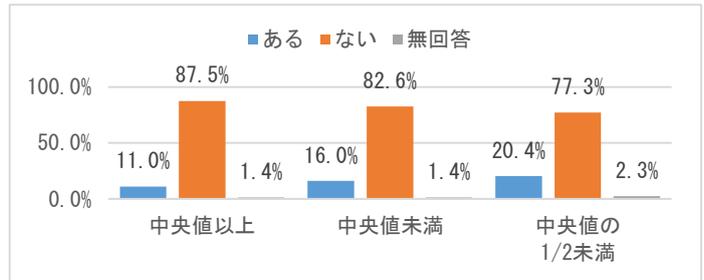
- ・ 収入が高い階層ほど、前回調査と同様に、過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「ある」と回答した割合が高くなっている。

【保護者・問7】過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。あてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度



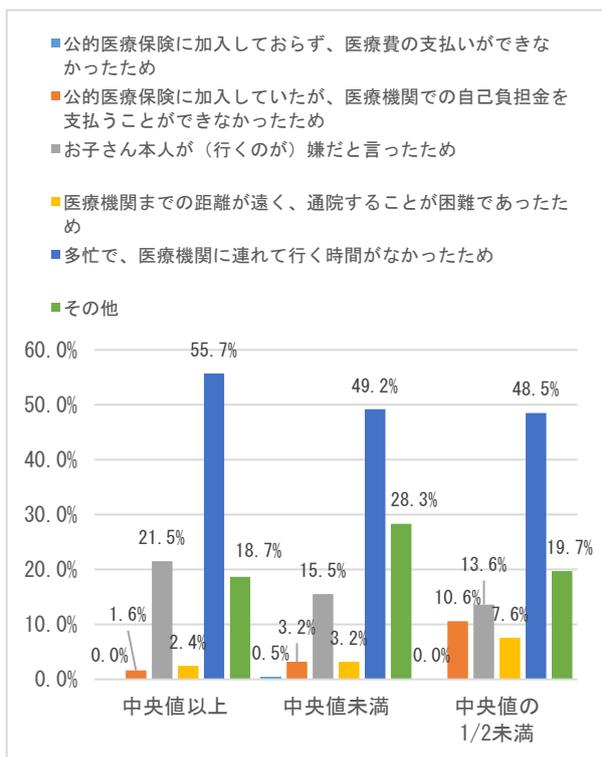
平成30年度



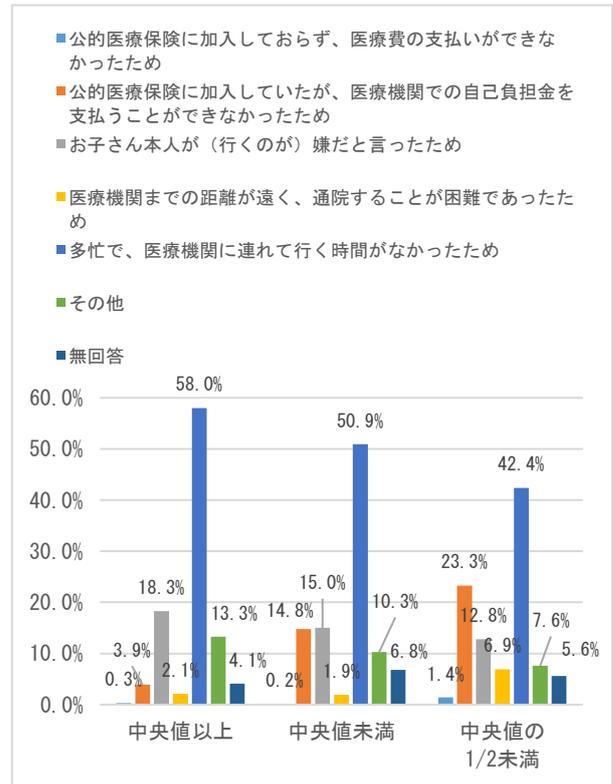
- ・ 「ある」と回答した理由について、全ての階層において、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」と回答した割合が最も高くなっている。また、前回調査と比較して、全ての階層において、「公的医療保険に加入していたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため」と回答した割合が減少している。

【保護者・問8】問7で「1. ある」と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。あてはまるものを1つ選択してください。

令和5年度



平成30年度



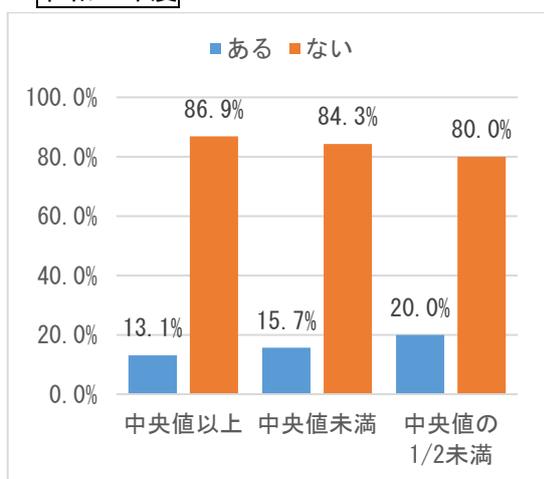
#### (4) 経済的支援に関すること

##### ① 子どもの医療機関の受診に関する支援

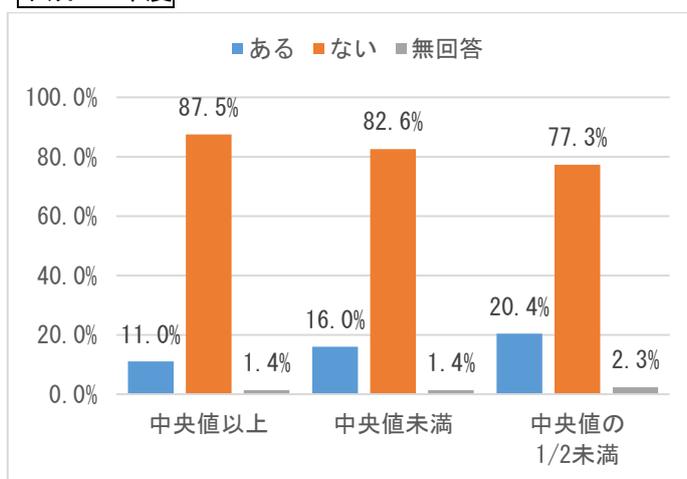
- ・ 収入階層別にみると、収入の低い階層ほど、過去1年間に医療機関でお子さんを受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「ある」と回答した割合が高くなっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合はおおむね横ばいとなっている。

【保護者・問7】過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。あてはまるものを1つ選択してください。(再掲)

令和5年度



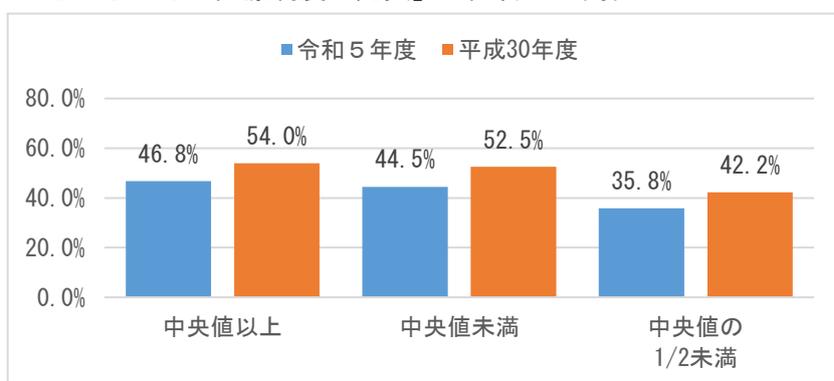
平成30年度



- ・ 子育て支援に関するニーズについて、「子どもの医療制度の充実」と回答した割合は、前回調査と比較して、全ての階層において、減少している。

【保護者・問28】あなたは、子育てをしていくうえで、どのような支援が充実すると良いと思いますか。特にあてはまるものを5つ選択してください。(抜粋)

○「子どもの医療制度の充実」と回答した割合

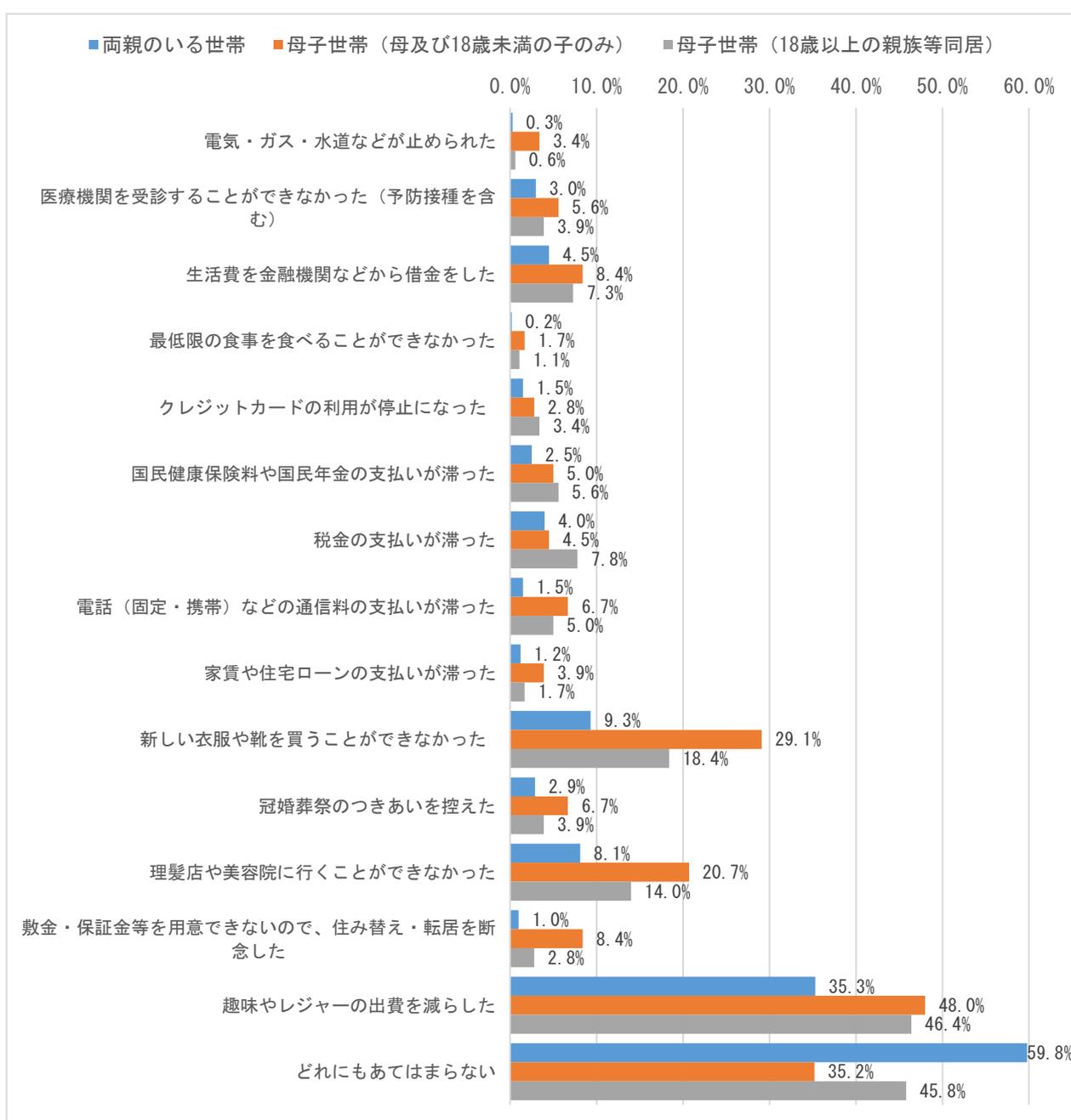


## ② ひとり親家庭等の経済的な支援

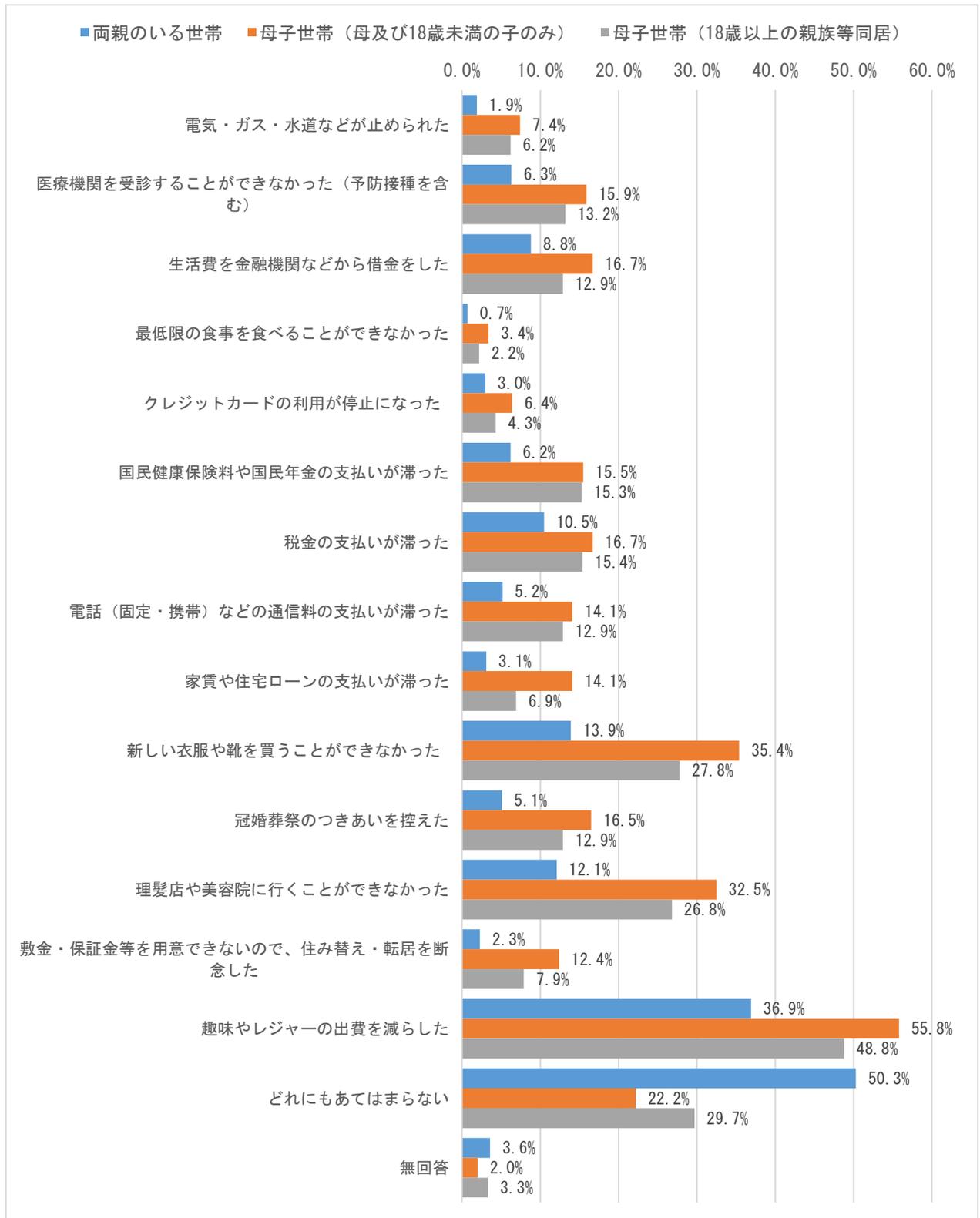
- ・ おおむね1年の間に、経済的な理由で経験をしたことについて、母子世帯では、両親がいる世帯と比較して、「どれにもあてはまらない」と回答した割合が低く、特に「趣味やレジャーの出費を減らした」「新しい衣服や靴を買うことができなかった」「理髪店や美容院に行くことができなかった」と回答した割合が高くなっている。
- ・ 前回調査と比較すると、母子世帯、両親のいる世帯ともに「どれにもあてはまらない」と回答した割合が増加している。

【保護者・問 25】あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由（お金が足りなくて）で、次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

令和5年度



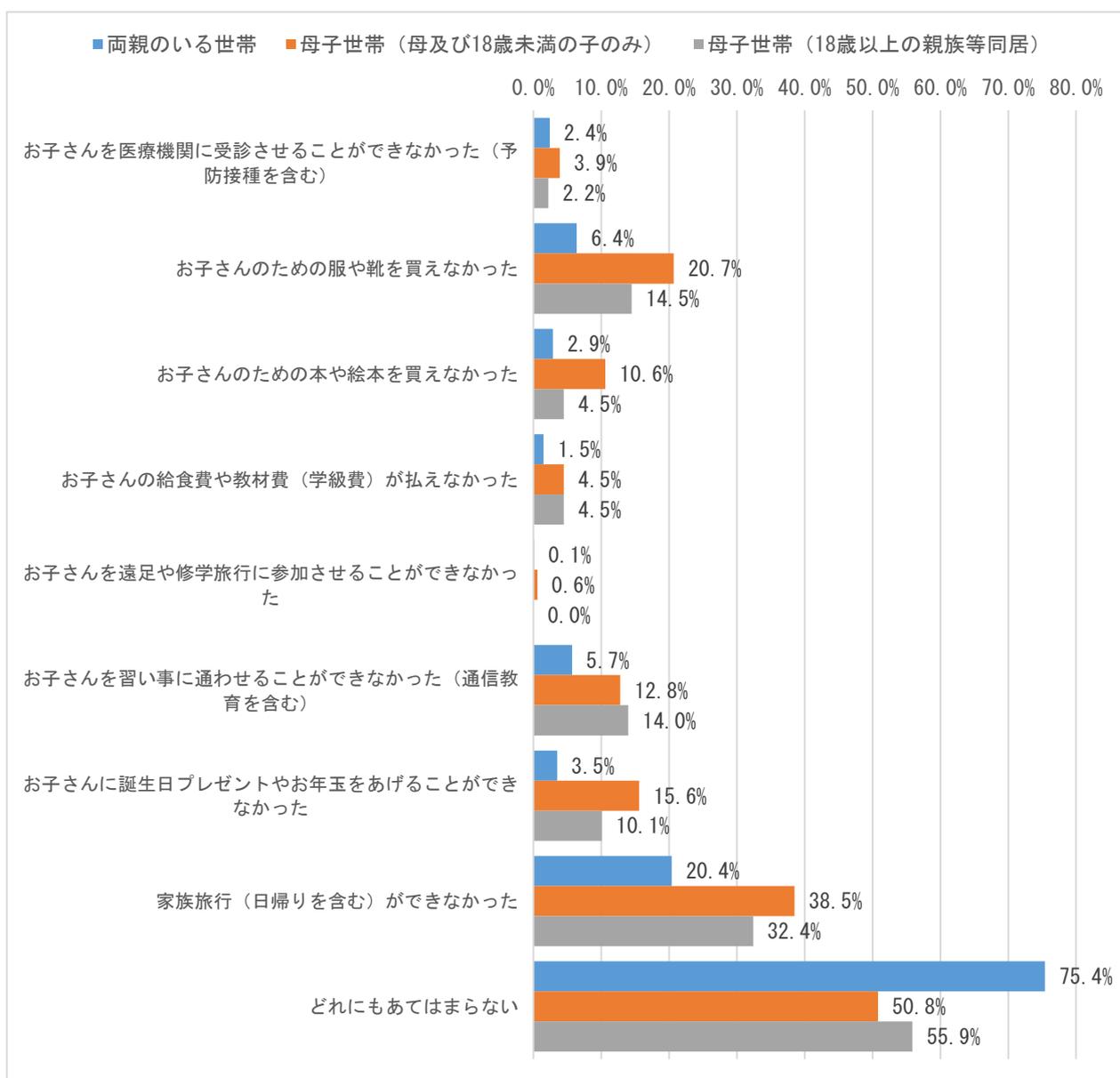
平成 30 年度



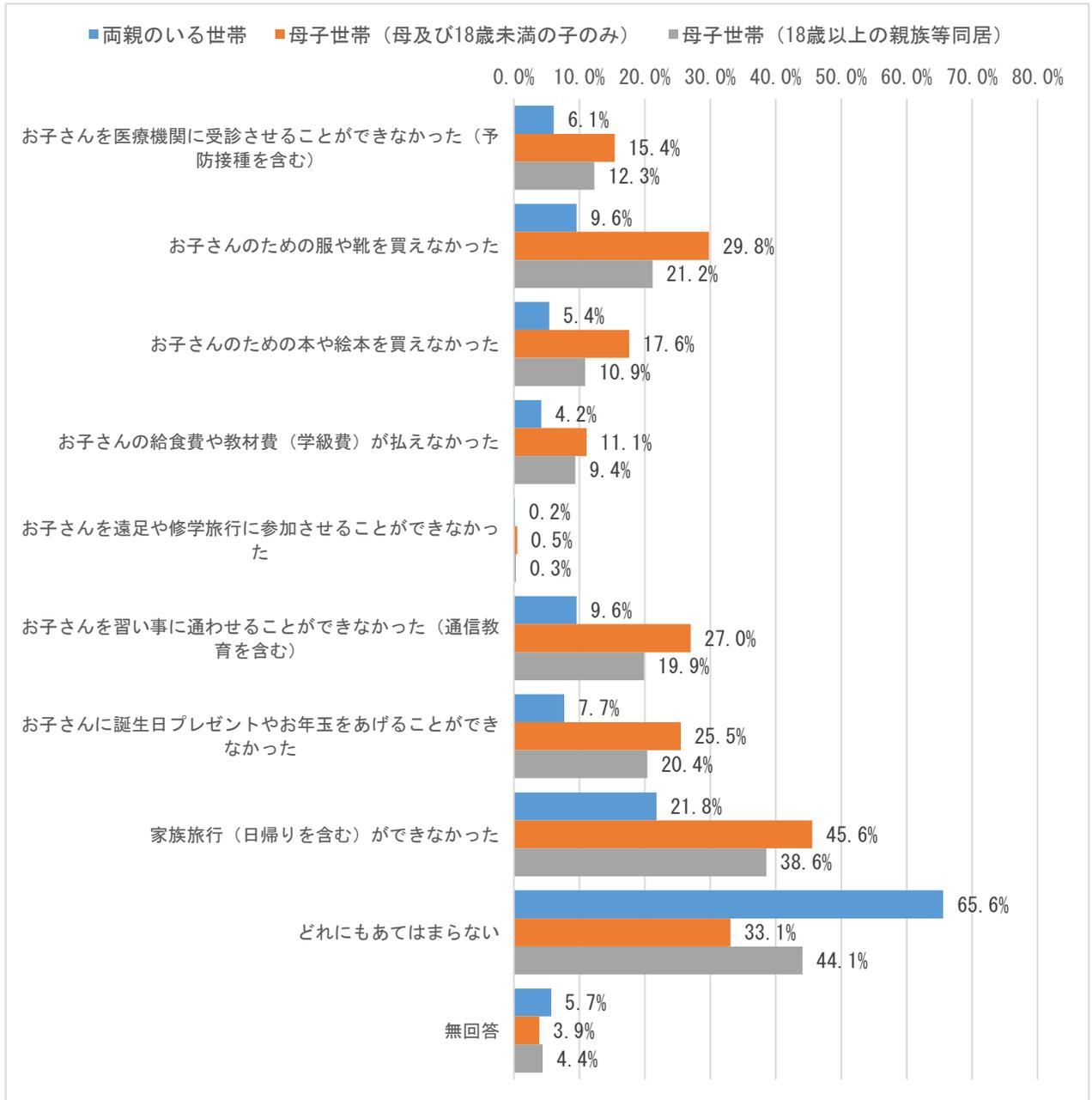
- ・ また、経済的な理由で経験をしたことについて、母子世帯では、両親のいる世帯と比べ「どれにもあてはまらない」と回答した割合が低く、特に「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」「お子さんのための服や靴を買えなかった」と回答した割合が高くなっている。
- ・ 前回調査と比較すると、母子世帯、両親のいる世帯ともに「どれにもあてはまらない」と回答した割合が増加している。

【保護者・問 26】あなたの世帯では、おおむね 1 年の間に、経済的な理由（お金が足りなくて）で、次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

令和 5 年度



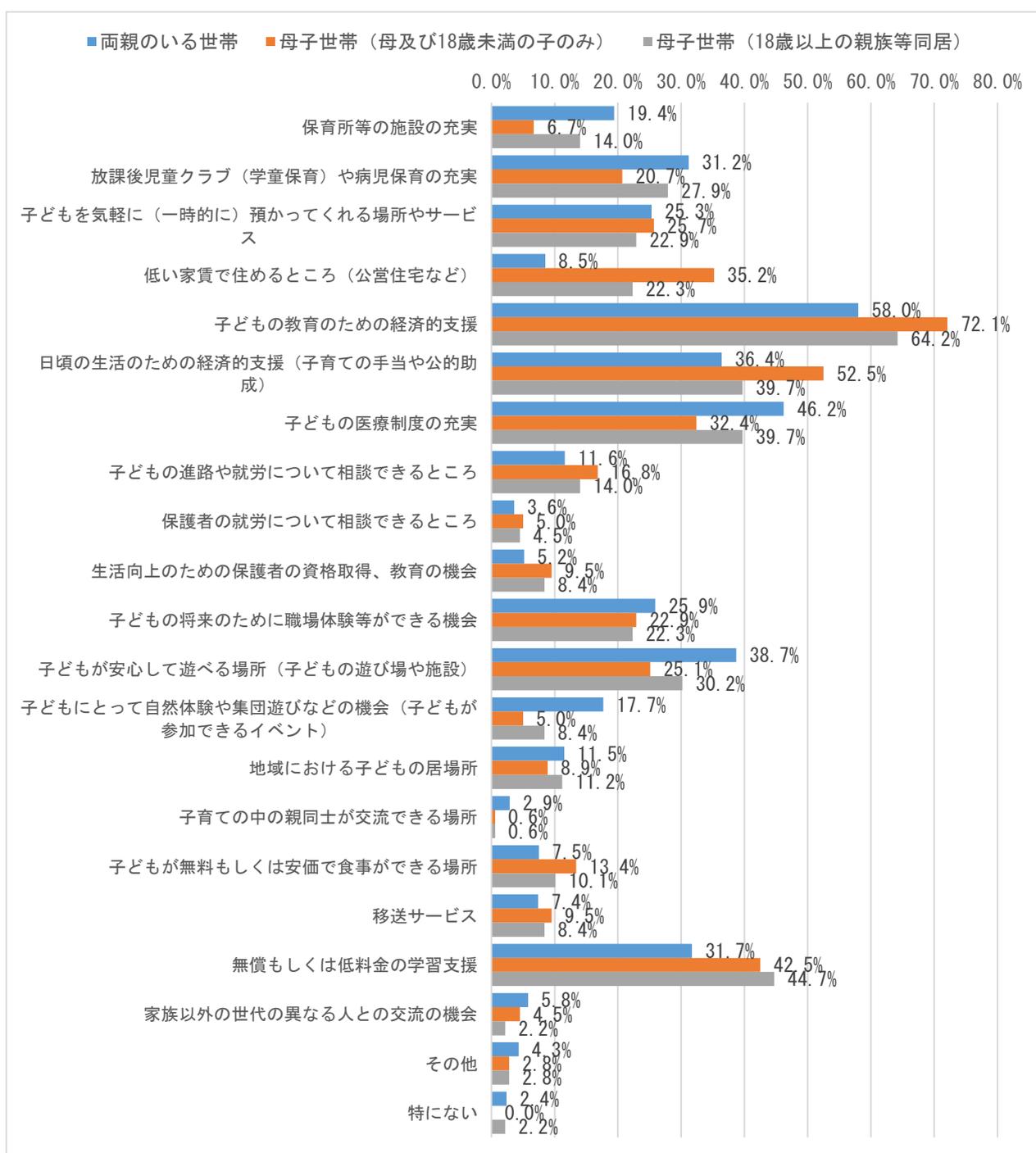
平成 30 年度



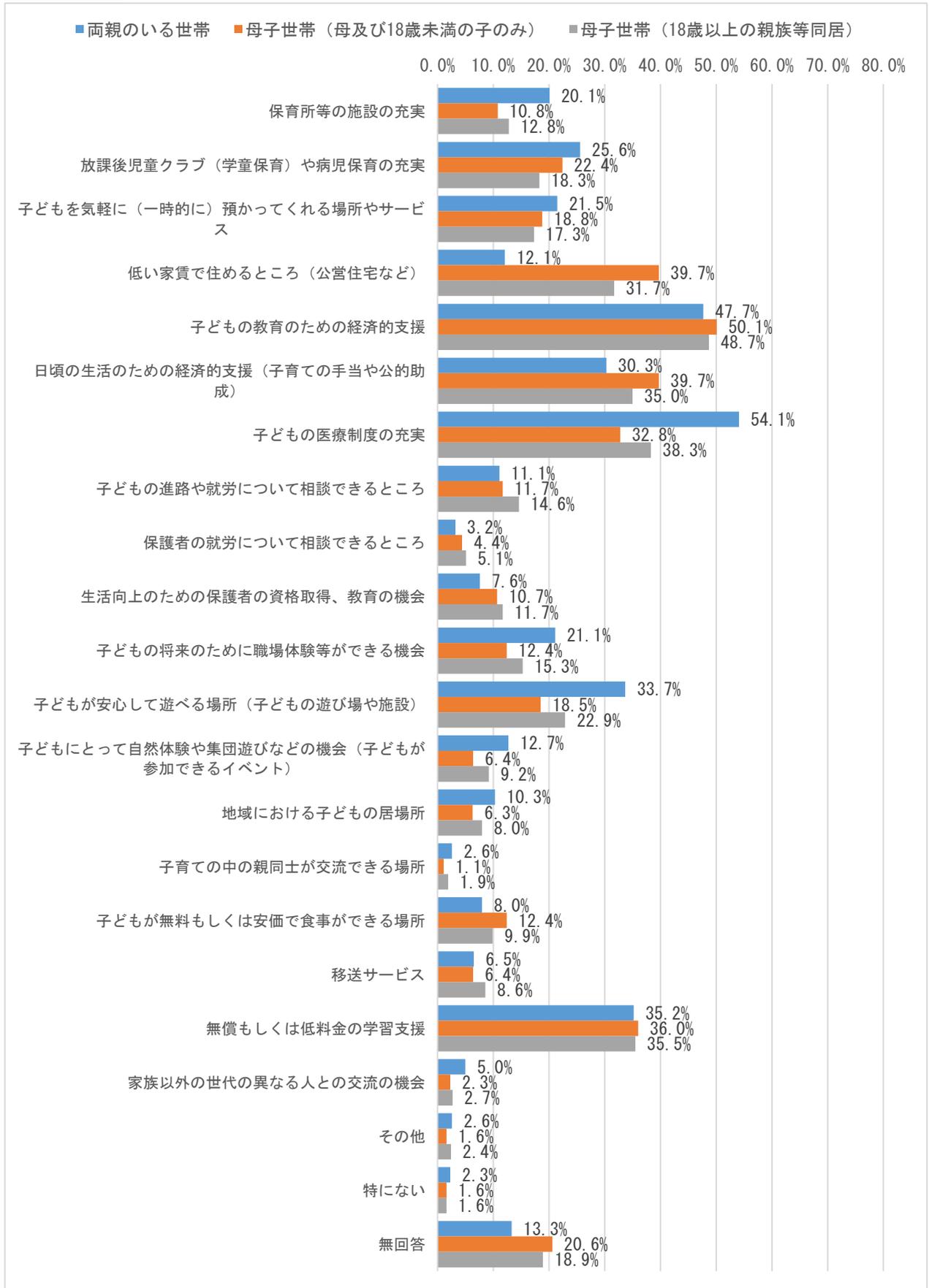
- ・ 子育て支援に関するニーズについて、母子世帯では、両親のいる世帯と比較して、特に「子どもの教育のための経済的支援」「日頃の生活のための経済的支援（子育ての手当や公的助成）」「無償もしくは低料金の学習支援」と回答した割合が高くなっている。
- ・ 前回調査と比較すると、母子世帯、両親のいる世帯ともに、特に「子どもの教育のための経済的支援」と回答した割合が増加している。

【保護者・問 28】あなたは、子育てをしていくうえで、どのような支援が充実すると良いと思いますか。特にあてはまるものを5つ選択してください。

令和5年度



平成 30 年度

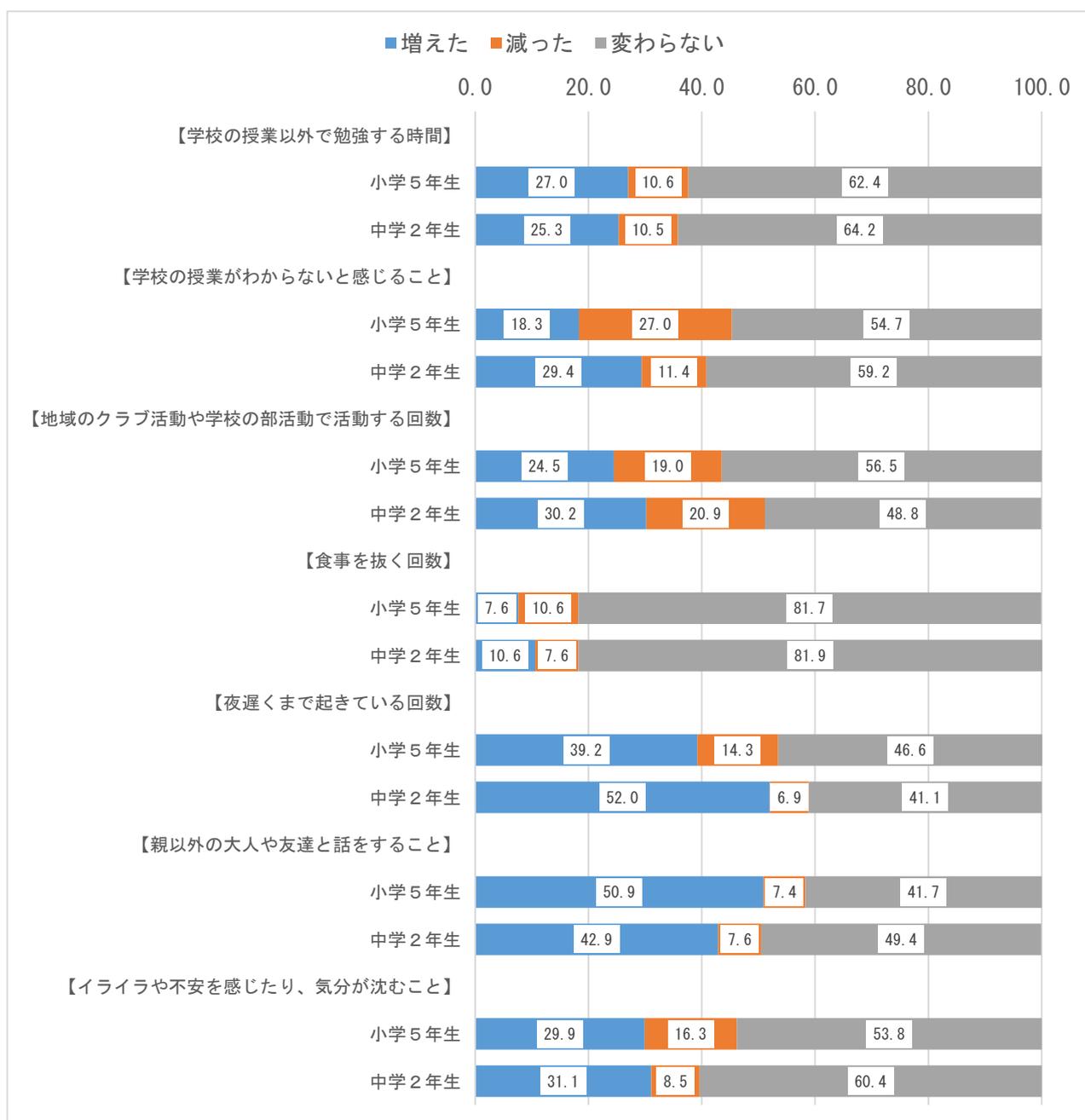


## 4 新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化に関すること

### (1) 児童生徒

- ・ 小学5年生では、親以外の大人や友達と話をすること、夜遅くまで起きている回数、イライラや不安を感じたり、気分が沈むことの順に「増えた」と回答した割合が高くなっている。
- ・ 中学2年生では、夜遅くまで起きている回数、親以外の大人や友達と話をすること、イライラや不安を感じたり、気分が沈むことの順に「増えた」と回答した割合が高くなっている。

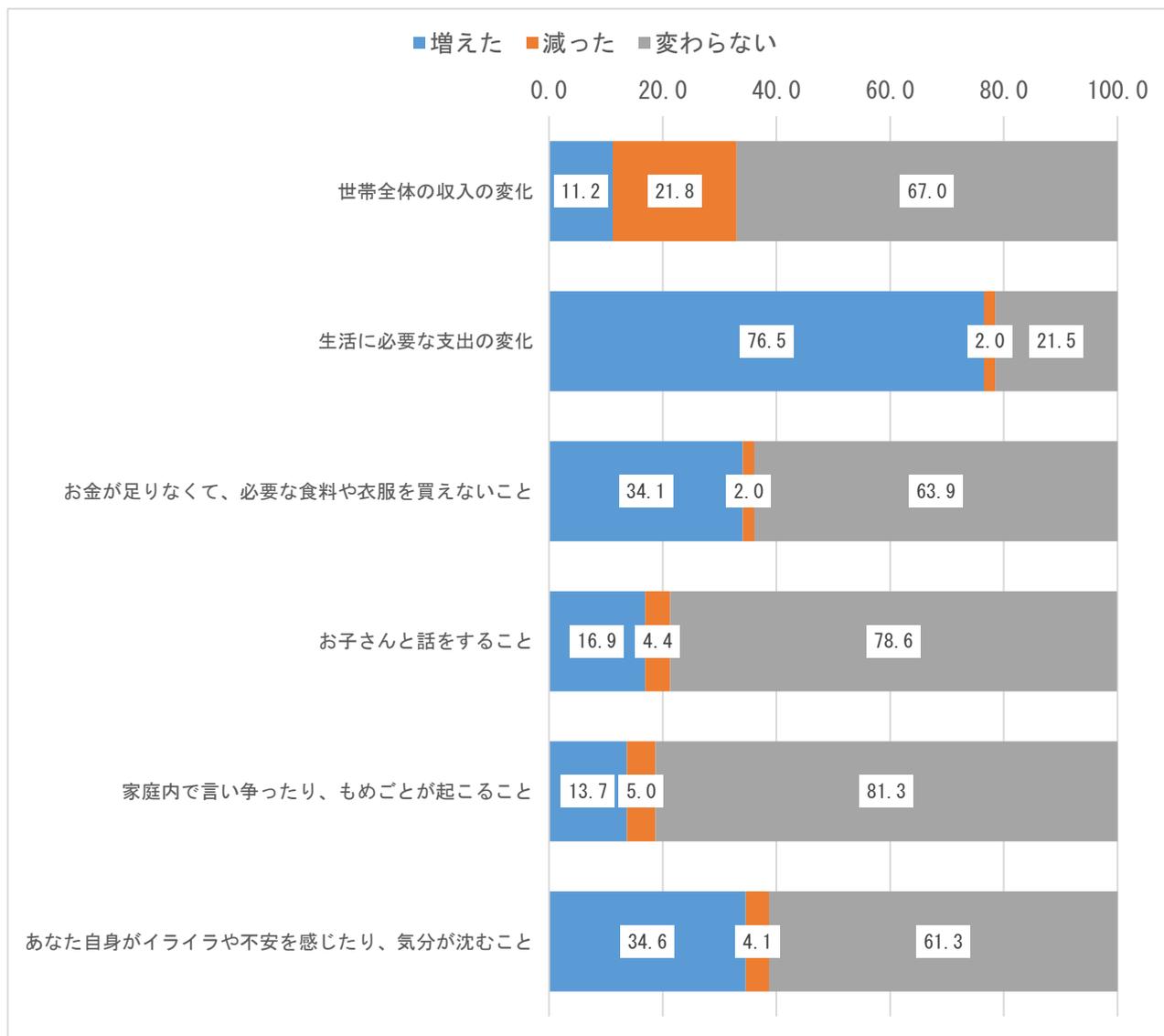
【こども・問 21】あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（あてはまるものをそれぞれ1つ選択）



## (2) 保護者

- 保護者では、生活に必要な支出の変化、あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと、お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないことの順に「増えた」と回答した割合が高くなっている。また、世帯全体の収入が「減った」と回答した割合が約2割となっている。

【保護者回答】あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（あてはまるものをそれぞれ1つ選択）



**令和5年度岩手県子どもの生活実態アンケート調査報告書（概要版）  
に関する問合せ先**

**岩手県保健福祉部子ども子育て支援室**

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1

電話 : 019-629-5456

ファクシミリ : 019-629-5464

メール : AD0007-3@pref.iwate.jp